ライオンズクラブ国際協会　333－C 地区

We Serve

地区ニュース

1990~91 No. 1

広げよう　愛の奉仕と緑の輪

1990年９月10日発行

目次

●ごあいさつ『すぐれた方針は、継承そして発展』

333-C地区ガバナー　L．長　島　　彪 …… 1

●第73回国際大会報告 …… 7

●国際会則の改正 …… 8

●国際会長略歴 …… 9

●国際会長就任演説　　国際協会会長　ウイリアム　L．ビックス …… 10

●国際プログラム …… 15

●本年度の抱負と方針〔キャビネット構成員他〕

幹事・会計 …… 18

R　　C …… 19

Z　　C …… 21

地区委員 …… 22

ＬＣ会長 …… 28

ＬＳＣ会長 …… 37

ＬＥＯ会長 …… 37

○第１回キャビネット会議録 …… 39

○333複合地区ガバナー協議会議事録 …… 40

○地区３役県知事など訪問 …… 40

○ＬＥＯ夏期研修会開催 …… 41

○ＹＥサマーキャンプ報告 …… 42

○ＡＣＴニュース …… 44

●習志野Ｌ．Ｃ　●佐倉Ｌ．Ｃ　●旭Ｌ．Ｃ　●飯岡Ｌ．Ｃ

●佐原Ｌ．Ｃ　●白子Ｌ．Ｃ

○寄稿「終戦記念日を迎えて」鴨川ネスクラブ前幹事木下秀子 …… 46

○地区行事予定表 …… 47

○ガバナー公式訪問日程表 …… 49

○ＰＲ情報委員・地区ニュース編集委員（連絡先）／編集後記 …… 50

地区ニュース

表紙のこと

この一歩から

＊記念碑は、伊能家七代目当主、伊能敬氏（武蔵大教授）と弟の洋画家伊能洋氏がデザインし、一族の書家伊能静光女史の筆によるもの。

＊56歳からの第二の人生で天文学を学び始め、約四千万歩を費やし、実測による日本全図を完成した忠敬の人生の歩み『この一歩から』

ひとあし、ひとあし確実に汗ある奉仕をしよう。

＊平成元年６月３日初めて制定された『測量の日』を記念して佐原ＬＣが、伊能忠敬翁の旧宅内庭に記念碑を建立した。

すぐれた方針は
継続そして発展

ライオンズクラブ国際協会
333－C地区　ガバナー
L. 長島　　彪

この度、第36回年次大会に於いてガバナーエレクトに選任されて以来、身に余る名誉と私に託された責任の重さに肝に銘じながら、7月6日～14日に亘り、アメリカ・ミズリー州セントルイス市に於ける第73回国際大会に出席のうえ、ガバナーとしての研修を終了し、同時に7月7日にオークブルックの国際本部での特別選挙にて選出されたウイリアム・L・ビックス国際会長より、正式にガバナーに任命され就任いたしました。

これからは地区行政運営面に於ける最高指導者となると共に最終責任者になったわけでありますが、何分にも未熟でありますので、地区構成員各位並びに各ライオンズクラブ及び諸関係の皆様方のご協力を得て、10年の節目を迎えた333－C地区の輝かしい伝統を守り、よき明日を目指してさらに発展させてゆくために、職責遂行に最善を尽くす所存でございますので、よろしくご支援ご鞭撻下さるようお願い申し上げます。

すぐれた方針は、すべて継承し内容を深めてゆくことが、333－C地区を発展させ、よい伝統を作り上げてゆく道であると、歴代ガバナーの皆様が申しておられます。私は、小泉ガバナーのもとで第4R・RCを、寺嶋ガバナーのもとで地区委員長を努めまして、3年連続のキャビネット経験となります。この2年間の経験を生かして、小泉ガバナーそして寺嶋ガバナーの方針を継承し、充実させたいと思います。

ビックス会長は、就任演説のなかで「心」「愛」そして「友情」を力説しております。道徳綱領が求めているように、批判は謙虚に、賞賛は惜しみなく、私達は建設しなくてはならず、破壊してはいけません。だれかが道徳綱領を読むよう求めております。とすれば、私達は何を求めているか、ピンをつけてライオンになったときに、何を支持すると約束したかをよりよく理解することができるでしょう。

小泉ガバナーの掲げたアクティビティスローガン『高めよう　心豊かに　L字の誇り』を、今年も高らかにうたいあげたいと思います。L字の誇りを胸に「ライオンズ道徳綱領」「ライオンと呼ばれる人」の精神を守り、誰からも尊敬される、心豊かな人間そしてライオンズであるように。

1. 緑を中心とした環境保全の推進

「地球にやさしい行動」を求めた１９８９年度の環境白書が５月18日に発表されました。１９９０年代の最大のテーマは地球環境問題であります。

一口に地球問題といっても、大気汚染、温暖効果、酸性雨といろいろあり、地球規模ではないがゴルフ場の農薬問題も環境問題のひとつであります。

環境問題は、７月アメリカ・ヒューストンで開かれた先進国首脳会談（サミット）の主要テーマになり、国連の「気候変動に関する政府間パネル」（ＩＰＣＣ）の部会は、精力的に会合を重ね、11月に予定されている世界気候会議に報告書を提出することになっております。さながら「環境元年」の様相を呈しております。

前年度、寺嶋ガバナーはこの問題を先取りし、今年は「地球環境年」であり、地球の温暖化、オゾン層の破壊など地球環境の危機を訴え、住みよい地球環境を維持するために、緑を守り育て、子孫の幸福を守りましょうと、アクティビティスローガンを

『育てよう 緑の大地 住みよい環境』

と提案し、地区ガバナー大賞を設けるなど、いろいろな奉仕活動を実行し、その成果は着実に実りました。

環境問題は避けて通れる問題ではありません。そして、緑の環境保全の推進は、継続することに意義があると考えまして、アクティビティスローガンを

アクティビティスローガン

『広げよう 愛の奉仕と緑の輪』

と提案いたしました。本年度も地区ガバナー大賞を設け、奉仕活動を積極的に行ってまいりたいと思いますので、皆様のご理解、ご協力を引続きお願い申し上げます。

2. 話し合いと発想の転換

小泉ガバナーは、就任早々の第１回キャビネット会議において「話し合いの強調」を訴え、国際協会の改革路線の中に於いて、ライオンズクラブのマンネリ化を排除するため勇気ある提言が求められております。各クラブに於いても、実りある討議を展開され、クラブの活性化、ライオンズクラブの発展策に意を注いでいただき、メンバー全員の参加意識を高めてゆきたいと、当時地区傘下８４クラブの会長による第１回「討論会」を実施いたしました。

寺嶋ガバナーも、この方針を十分に受け継ぎ、第2回の会長会を実施いたしました。これまた、素晴らしい成果が上がったことと存じます。

私も、第1回の討論会にはＲＣとして参加し、熱心な検討や協議を経て、この討論会は継続してこそ成果が上がると思いますので、本年度も、ぜひ実施をいたしたいと思います。

３３３－Ｃ地区のライオンズ憲章にある、クラブの自主性の尊重は当然としながらも、ライオンズクラブの奉仕活動は、人類愛に基づき、アクティビティの地域社会感覚から世界観に通じるものに引上げる努力というアクティビティ指標となりつつあります。

ソビエトや東欧諸国にも、ライオンズクラブが誕生しはじめている今日、一地域だけでなく、国際的視野に立った発想と行動とがきわめて大切になってきているということをご認識していただきたいと思います。

3. ライオンズの位置付けとしての知事との対談

幕張メッセのオープン以後、千葉県はその名が知られてきております。そこで、同じく世界的組織として、奉仕活動をつづけているライオンズクラブ３３３－Ｃ地区としては、沼田知事と寺嶋ガバナーの新春対談を企画致しました。沼田知事は、東葛飾高校で寺嶋ガバナーより一年先輩であり、寺嶋ガバナーは同高校の同窓会長をしている関係上、親しくお付き合いをしておる間柄でございます。

対談は、なごやかな雰囲気のなかで

⑴ 21世紀を展望　新産業三角構想

⑵ 東京湾横断道路完成で県内道路の整備

⑶ 開発と環境保全との両立

⑷ 青少年健全育成は県と協力して

⑸ 合同アクティビティは県とも相談して

これらを中心に1時間近く行われました。大変有意義であったと聞きおよんでおります。

（内容については、89-90・地区ニュースNo.3を熟読して下さい）

世界の千葉県を目指して、国際的に舞台で活躍するライオンズクラブに期待して本年度も、この企画を実施してまいりたいと思います。

4. ルテナント・ガバナー制の確立

地区の運営をスムーズに行うためには、ルテナント・ガバナーの設置がきわめて重要な課題となってきました。

１９８８年デンバー国際大会に於いて、ルテナント・ガバナー制度についての会則改正が採決され世界レベルに於いて、各地区が制度活用の気運が高まってきております。現在我が国では３３２複合地区の3地区と３３１－Ｃ地区で実行されているのが現状であります。

1988年デンバー国際大会に参加されました小泉ガバナーは、この制度の必要性を感じ、在任中いろいろ検討いたしましたが、一朝一夕では成立できず、寺嶋ガバナーへの申し送り事項となり、第2回キャビネット会議でルテナント・ガバナー検討委員会の設置を提案し、小泉ガバナーを委員長として委員会を発足させ、委員会において慎重なる討議の結果、91－92年度より実施することが、第36回年次大会において承認可決されました。

（答申書が年次大会前に各クラブに送付されておりますので熟読して下さい）

333複合地区ではA・B地区に先駆けての制度であり、この実施にあたり、運用面において詳細にわたって検討する余地がまだあると思われますので、引続き特別委員会を設置し検討していただき、91年5月12日の第37回年次大会にてC地区初のルテナント・ガバナーが誕生するわけであります。

5. 地区財政の健全化

健全な財政なくしては、組織も十分な活動が出来ないし、崩壊してしまう危機すらあります。

小泉ガバナーは、解決策として支出を削減し、地区ニュースに広告をのせ、広告料で広報費の一部を賄いましたが、それでも解消するまでにはいきませんでした。

寺嶋ガバナーは、広告料で赤字財政を解消し、繰越金は減少させないという方針でした。

赤字をなくすためには、①徹底的に経費をつめる、②機構を縮少する、といった消極策と、①地区費のうち特別運営費を徴収する、②雑収入の増加をはかる、という積極策があります。

寺嶋ガバナーは、第2回キャビネット会議で財政検討委員会の設置を提案し、平井名誉顧問会議長を委員長として委員会を発足させ、委員会より答申されました内容を検討した結果、90－91年度より地区特別運営費の100円徴収を決定され、第36回年次大会において承認可決されました。

しかし、これで「財政の健全化」が出来るかどうか予測ができませんので、本年度も引続き、特別委員会を設置し、財政問題についてご検討をお願いいたしたいと思います。

6. 国際的な奉仕活動・ＬＣＩＦへの協力

セントルイスにおける第73回国際大会において、90－91年度国際プログラムとして「視力ファースト」が採用されました。ライオンズクラブ国際協会が手掛けたものの中でも、特に大規模なプログラムであると思われます。これは、協会の画期的出来事になるに違いありません。世界のライオンズの決意を土台として、人類の必死な求めに応えていくことになると思われます。

「視力ファーフト」の
パートナーはＬＣＩＦ

ＬＣＩＦは、20周年の年に２万人のメルビン・ジョーンズ・フェローを獲得いたしました。協会の75周年を祝う1992年までに７万５千人のメルビン・ジョーンズ・フェローを達成しようという新しい目標を立てました。

ＬＣＩＦに寄せられた資金は、世界中で行われている多くの人道主義奉仕を援助し、90－91年度国際プログラム「視力ファースト」を援助する資金にも当てられます。各クラブとも毎年１人づつのメルビン・ジョーンズ・フェローを出してこの目標達成に協力するようにとの要請が国際会長よりきております。

本年度も、国際プログラムをご理解いただき引続きのご協力をお願い申し上げます。

7. 新クラブ結成・会員増強・退会防止

今年から、クラブ会員委員会が発足致します。同委員会の各メンバーは、３年間その役を務め、３年目のメンバーは委員長となります。委員長は、クラブ理事会のメンバーともなります。目標達成に新しいプランが出て来て大いに期待が持たれることと思います。

この委員会設立で、1986年に始まった会員及びエクステンション・プログラムの再組織が完成します。この1986年に国際理事会は、着実な年次純増加を、基本的ゴールとしました。さらに、この目標達成には、次の３つの努力が必要とされております。

(1) ライオンズクラブが結成されていない町をはじめ、同一市、町村に新クラブを結成

- 前年度　新クラブの結成は３クラブありました。
- 結成されていない町から八街ＬＣ（スポンサー・成田平成ＬＣ）
- 同一市内に銚子中央ＬＣ（スポンサー・船橋ＬＣ）、八千代東ＬＣ（スポンサー・八千代ＬＣ）
- ライオネスクラブは、柏ＬＣがライオンレディ以外の女性で結成
- ＬＥＯクラブは、柏グリーンＬＣが結成
- 本年度は、さいさきよく７月27日に成田グリーンＬＣのスポンサーにより、八街グリーンＬＣが90－91年度日本第１号のクラブとして結成されました。これからも、リジョン内にライオンズクラブが結成されていない町がありましたら、ぜひ結成にご努力をお願いいたします。ライオネスクラブの結成にも、結成されていないリジョン（４Ｒ・７Ｒ）では結成にご努力をお願いいたします。

(2) 活気あふれる優れた会員の加入

- 地区財政の健全化を計るためにも、会員の絶対数が必要であります。全クラブ１名以上の純増をお願いいたします。

⑶　心と心のふれあう楽しいクラブ運営による退会者の防止

本年度も、これらの課題をキャビネットはじめ全クラブが、心を一つにして取組んで行きたいと思います。

8. 合同アクティビティ

今までにも、地区の合同アクティビティはいくつか行われました。

合同アクティビティを、スムーズに行うためには、キャビネットを構成する方々や各クラブのご意見を十分に聞くことが大切です。そこで、本年度も合同アクティビティに関する皆様方や各クラブのご意見をまとめ、集約して、具体的な内容を決めて行きたいと思いますので、その節は、よろしくご理解をいただきご協力をお願いいたします。

9. 委員会の独自性をもった積極的な活動

継承して、内容をより深めて行くために、キャビネットの委員会や地区委員長は前年度と同じといたしました。

各委員会とも、それぞれきわめて重要な仕事を担当することになりますので、独自性をもった積極的に活動することを期待いたします。

地区ガバナーは、キャビネットを構成する皆様方と、全クラブメンバーのご指導ご協力によってのみ、その任務を果たすことが出来るのです。私も信条である「誠意と努力」をモットーに頑張る所存ですので、この１年間友情、奉仕に意を注ぎ、共に手を取り合ってＣ地区発展のために頑張って参りましょう。

―We Serve―

第73回国際大会報告

（セントルイス市　1990年７月11日～14日）

1. 国際役員の選出

７月14日、セルバンテス・コンベンション・センターで行われた投票で、別紙１のとおりの役員が選ばれました。

日本からはＬ．米島　忍（335－Ｂ・大坂東クラブ）が国際理事に選ばれました。また、Ｌ．土屋呂武（337－Ａ・福岡クラブ）が、国際理事会でアポインティ（ＬＣＩＦ執行委員）に任命されました。

なお、昨年９月の小川国際第１副会長逝去に伴い、７月７日にオークブルックの国際本部で特別選挙が行われ、アメリカ、ネブラスカ州のウィリアム　Ｌ．ビッグスが1990－91国際会長に選ばれました。ビッグス国際会長の略歴は別紙２のとおりです。

2. 国際会則改正

９頁の改正案の第１項、第２項とも可決されました。

3. 国際会長就任演説

７月14日、セントルイス・アリーナで行われたビッグス新国際会長の就任演説は別紙のとおりです。

4. パレード・コンテスト

日本はユニフォームおよびバンドの２部門に参加しましたが、入賞はしませんでした。

5. 閉　会　式

(1)　クラブ会員全員がメルビン・ジョーンズ・フェローになった宝塚王仁クラブ（335－Ａ）が、台南西クラブとともに表彰されました。

(2)　1990人道賞がブラジル、サンパウロのDr. Kara　Joseに賞金とともに贈られました。

6. 大会参加者

全世界110カ国から参加者があり、大会登録者数は約18,500名、そのうち代議員登録をした参加者は約6,940名でした。

日本からの参加者は約1,110名、代議員登録は約520名でした。

1990年７月
日本ライオンズ連絡事務所

We Serve

国際会則の改正

(1990年国際大会)

第1項：　終身会員になるための資格を変える改正案　(賛成68％、反対31％)

この結果、終身会員になる資格は次のとおりになる。(1)終身会員になる条件の在籍年数が25年以上から20年以上になり、(2)今後の国際会費全額の代わりに1回だけ支払う納入金が、200ドル相当額から300ドル相当額になる。

下記改正案は承認されるべきか。

国際会則第3条9(e)項1行目に「25年以上」とあるのを「20年以上」に変え、2節目に「200ドル」とあるのを「300ドル」に変える。

第2項：　チャーター・クラブの責務に新しい項目を加える改正案　(賛成91％、反対8％)

この結果クラブは、ライオンズクラブ国際協会の目的並びにライオンズ道徳綱領を推進しなければならないことになる。

下記改正案は承認されるべきか。

国際会則第11条に、新しく(k)項として下記を加える。

(k)　ライオンズクラブ国際協会の目的とライオンズ道徳綱領を推進する。

ウィリアム L.ビックス国際会長略歴

アメリカ合衆国ネブラスカ州オマハのウイリアム L.ビッグスは、1990年7月7日、合衆国イリノイ州オークブルックの国際本部で開催された特別会合において、ライオンズクラブ国際協会の会長に選出されました。特別選挙は、1989年9月の小川第1副会長の死去に伴って行われました。ビックス会長は、1990年7月14日、合衆国ミズーリー州セントルイスで開催された第73回国際大会の閉会式において就任されました。

ビッグス会長は弁護士で、ネブラスカ州オマハのシュミッド、フォード、ムーニーおよびフレデリック法律事務所の共同経営者です。

1962年にライオンズに入り、1971年にオマハ・ライオンズクラブの会長になりました。ビッグス会長は、クラブ会長、ゾーン・チェアマン、地区ガバナー、国際理事など協会のいくつもの役員を務めました。

アワードの中で、ビックス会長は、ライオニズムへの貢献によって7つの国際会長賞、100％地区ガバナー賞、エクステンション賞、およびライオンが協会から受賞することのできる最高の栄誉である親善大使賞を受賞しています。

ビッグス会長は地域社会との強いつながりを持ち、オマハのイマニュエル医療センターおよび南南西部ＹＭＣＡの理事会で、また、ネブラスカ・ライオンズ・アイバンクの理事および会計、中部ルーテル大学の評議員会のメンバー、ネブラスカ法科大学校友会会長として活動しています。

ビッグス会長は法曹界でも現役で活躍しており、オマハ、ネブラスカおよびアメリカ弁護士会に所属しています。オマハ弁護士会のために働き、長期計画委員会の委員長を務めました。

ビッグス会長とベティ夫人（Dr. Bette）には、5人の子供と2人の孫がいます。

William L.“Bill”Biggs国際会長就任演説

(1990年7月14日　セントルイス・アリーナ　セントルイス)

ひとりのライオンとして私が行うことは、私の神への信心の現実的な表現にすぎないと私は信じます。ですから、私は私達のすべてと国際協会のために助力、指導、知恵、理解を請い求めることから国際会長としてのこの1年を始めたいと存じます。来るべき1年のために私と共にお祈りをしましょう。ネブラスカのルーテル至福会のKenneth Withrock 神父にお祈りのリードをお願いします。

（祈　　禱）

前会長、執行委員、理事会構成員、ライオンズ、レオー他人のために奉仕するすべてのみなさん、「何を描いているの？」と画用紙にクレヨンで熱心に向かっている子供に母親が尋ねました。

「神様の絵よ」と子供は返事をしました。

「でもね、神様の絵なんてどうして描けるの？　神様がどのような形をしているのかだれも知らないのよ」

「だれだってわかるさ」と子供は答えました。「私が絵を完成したときにはね」

今朝「私が完成したとき」、すべてのみなさんが、私および私達が信じていることをより明確に心に描くことができると存じます。私達の協会の本年度の役員と目標のより明確な絵――目標を現実のものとするためにすべてのみなさんに求められている約束のより明確な絵を心に描くことができると存じます。

私達の協会に対する確信、希望、夢をみなさんと語り合う前に、今朝ここにいる私の人生にとって特別の人をみなさんに紹介しないとすれば、私は不注意者と言われるでしょう。私の奉仕パートナーであり、私を完成させてくれた妻のBette、息子のBill、BrianとMatthew、婿のMike、娘のLisaとGinger および親族の者です。この人々は過去において、そして今協会の大きな責任を負おうとしている時に私を支え、勇気づけてくれました。

70周年を迎えた私のOmahaクラブを含む38複合地区の奉仕のパートナーであるライオン、ライオネス、オンタリオのA－1地区のPetoroliaライオネスクラブのライオネスのみなさん――1人ひとりとしてまた全体として、この人々に私は大変お世話になってますし、友情で結ばれています。最後に、法律関係の私のパートナーで私達の法律協会の会長William E. Mooney Jr.夫妻、私の38－B地区の次期ガバナーRick Myers夫妻、私の秘書Roxanna White夫妻です。これらすべての人々の助力と支援により、私が会長に就任できることを感謝します。

7月7日、元国際理事、元国際会長、国際理事会構成員により、Oak Brookで国際会長に選出され、心から光栄に存じます。私達の歴史の中にエキサイティングな時期に、私を信頼し、協会の指導者の仲間に入れて下さったことに対し、彼らのすべてに感謝します。

選出されてからまだ間がありませんでしたので、みなさんの多くは私のことをよく存じていないと思います。そこで私は私自身のこと、協会に対する私の考え方や将来の夢についてみなさんと語り合いたいと存じます。

1. 国際協会のライオンズ、ライオネス、レオ、ライオンズクラブのあまりにも多くの者が、事業を積極的に行わない、目標点に到達できない、持てる力を

発揮できないように思われます。これは目標をあまりにも低く定め、これくらいしかできないと思い込まされ、私達をとりまく否定主義の世界に取り込まれているためではないでしょうか。

フロリダのEpcotセンターの展覧会の入口に標識があります。それは私達個人の哲学として採用すべき簡明で直截的な言葉で ― それを夢みることができれば……それを成し遂げることができる。私達は自身の想像によって制限されているにすぎない。

「すべての人は夢をみる。しかし一様ではない」

「心の汚れた片隅で夜に夢みる人は、目覚めてみればそれが虚栄だったことがわかる」

「しかし白昼の夢みる人は危険な人」

「それは夢見心地で夢を実現しようとするから」

私達個人個人あるいは全体にとって今年度最大の成功への妨げは、もしという2文字です。もしもっと時間があったなら、もしもっと力があったなら、もしもっと健康であったなら、もしもっとエナルギーがあったなら、もしもっと能力があったなら、もし身近なライオンズがもっと一生懸命働いてくれたなら、もしもっと上手に話すことができたなら。もし、ここでは仕事ができないのなら、他のいかなる所でも仕事はできない。あなたが今いるところで幸せでなければ、他所のどこに行っても幸せになれません。

私達は、「あなたはできない」、「あなたはしてはいけない」あるいは「ほかの人ならあなたよりよくできる」と教え込まれてきました。そして万人に植え込まれていた進取の気性がなくなってしまいました。私達は否定的な考え方に馴らされてきました。

実験を試みてみましょう。ガラスの瓶に虫を入れふたをして下さい。虫がジャンプをすると、ふたにぶつかります。虫は外に出たいからです。更に長くジャンプを続けると、虫はふたにぶつからなくなります。そういう時になったら、ふたを取って下さい。しかし、虫は飛び出しません。虫はそれほどの高さにジャンプすること、それくらいの行いに馴らされてしまったのです。同様なことが、私達の今日住む否定の世界と私達について言い得るでしょう。あまりにも多くの人々が目標に到達できないし、その持てる力を十分に発揮していません……あまりにも多くのライオンズおよびクラブが、できること、あるいはできると考えていることの枠内に閉じ込められています。それは彼らが、それくらいしかしないこと、その高さまでしかジャンプしないことに馴らされてきたからです。私達ライオンズは、今行っていることに対して積極的であり、情熱的でなければなりません。否定的に考える誘惑と戦わなければなりません。みなさん、私達の態度を変えることにより積極的な思考方法によって生活を文字どおり変えることができます。

偉大なる哲学者Ralph Waldo Emarsonは、「人は一日中思考する」と言いました。

偉大なローマMarcus Aureliusは「人の人生は、彼の思考が作るものにほかならない」と言いました。

積極的な思想家Norman Vincent Pealeは「思考を変えなさい。そうすれば、あなたは世界を変化させられる」と言いました。

聖書に「人は心で考えるが故に、人は心なり」と書かれています。

私達の心は畑のようなものです。畑に豆を蒔けば豆の収穫が期待できます。ジャガイモを植えれば、ジャガイモの収穫が期待できます。何を植えても、それが倍増されます。心に否定的な思想を蒔けば、否定的な収穫を得ます。心に積極的な思想を蒔けば積極的な収穫を得ることができます。

積極性の栄養で心を養うことをいつも忘れないようにしましょう。

本年度の目標を達成するためには、私達は積極的な態度で情熱をもって目標に近づかなければなりません。

2. 次の二つのことを忘れなければ、私達は何を決心しようと達成できると思います。

(1) 誰が名誉を得るかなどとだれも考えなければ、どんなことでも成し遂げられ、どんな目標も達成

することができます。

(2) 私達は常に積極的に互いに支持し合い、分裂することがあってはなりません。

個人的な利益を取り除く時です。個人的な偏見、悪意を取り除く時です。国際協会の未来にとって、何が一番よいことなのか、私達全部にとって何が善なのかのみを思考する時です。その時が来ました。私達は地球上で一番大きな奉仕団体です。私達は、個人的にも集団としても、常に完全に滅私の態度で行動しなければなりません。それが建設的でなければ、批判は必要でない、と国際会長当時　Ebb Grindstaff　は言っています。あなたが建設的な批判に喜びを感じるとしたら、その時は口を閉じる時です。だれかを中傷したい気にかられたときは、それを口にしないで、水際の砂に書いて下さい。噂は、真実か否かにかかわらず、壁の上の濡れた泥のようなものです。それが乾けば拭き取れます。しかし染みは残ります。

今年度もしあなたが他人を悪く言いたい気にかられたら、それが噂であれ、中傷であれ、批判であれ次の詩を思い出すよう提案します。

ビルを倒すのを見たことがある。
街中に一群の人がいて。
力強い、わっしょいわっしょいの掛け声で角材を打つと側壁が落ちる。
この人達はビルを建てるときに必要な技術者ですかと、親方に尋ねてみた。
親方は笑いながらノーと言った。
普通の労働者で十分だ。
建設に1年以上もかかったものを1日か2日で破壊するのは簡単だ。
この二つの役目のうち自分自身はどちらを演じてきたか、道行きながら考えてみた。
私は人生を規律と定規で測り、心を込めて働く建設者だろうか。
注意深く最善を尽くして、よい設計に合わせて行動を律しているか。
それとも私は、破壊の労働に満足して街を行く破壊者なのか。

道徳綱領が求めているように、批判は謙虚に、賞賛は惜しみなく、私達は建設しなくてはならず、破壊してはいけません。

私は、各クラブがこの1年間、1か月に少なくとも1回は例会で、だれかが道徳綱領を読むよう求めています。とすれば、私達は何を求められているかピンをつけてライオンになったときに何を支持すると約束したかをよりよく理解することができるでしょう。

3. 私達の経験が、私達をすばらしいライオンにしたと信じております。クラブ会長、地区ガバナー、ときには国際理事までが、ライオンは彼らほどライオニズムに精進していないと不平を言うのを耳にしたことがあります。

ここにお集まりのみなさんは、多年奉仕をされたライオンであれ、ライオネスであれ、あるいは入会後間もない会員であれ、多くの方々が、ライオニズムの中には自分の利益になる如何なるものがあるだろうかと尋ねるでしょう。仕事は厳しく、ときには長時間かかります。そしてしばしば行為を選択しなければなりません。あなたは他の会議に出席したりプロジェクトに参加するよりも何か別のことをしたいと考えることもあるでしょう。こういう時は、ライオニズムの報酬は多分あなたの心から最もほど遠いものであります。しかし記憶に残る時というものは、何か特別なことが起こった時であり、ライオンズの仕事に全神経を集中したとして経験した数多くの高度の経験、ライオンズが奉仕活動を行う中で起こった奇跡についていくらでも話すことができます。ライオンおよびライオネスとして、あなたと私が行っていることが、決定的に極めて重要であり努力の甲斐があると確信した瞬間について話すことが出来ます。私と共に経験し、そのためによりよいライオンあるいはライオネスに成長した人々について語ることも出来ます。それは私の友人に起こりました。クラブのスポンサーで眼科手術を受けた少女の眼から包帯が除かれるとき、彼はその部屋にいました。

少女は生来盲目でした。包帯が除かれるとき、この少女は母親を見て言いました。お母さん、お母さんは私が思っていたとおりの姿をしています。これが山頂の高度な経験です。

ライオニズムの家族である私達すべては、かつて結集したことのある最も高度な人道的ボランティア集団であると言っても過言ではありません。ライオンあるいはライオネスとして仕事をしても、支払われることはありません。汚れた困難な多くの作業を要したあるプロジェクトの報告があります。あるライオンは言いました。「このことを行っても、私はお金を支払われません。しかしライオンとして、あなたも私も行った奉仕に対して、他の方法で支払われています。私達は築かれた友情、楽しんだ仲間意識という形で支払われています。リーダーシップをとり、人間的成長をする機会という形、世界最大の奉仕団体の会員であるという特権の形で、あなたは支払われています。あなたは、物事完遂の満足感、とりわけ人間の経験の中で最もうれしい奉仕の喜びという形で支払われています。

4. この協会の未来は、私達がそれぞれライオン、ライオネスあるいはレオとして、クラブや地区に対してではなく、国際協会の目的に対してどれだけ献身するかの度合いにかかっています。各個のライオンライオネス、レオ、各個のクラブ会長、地区ガバナー、国際理事、各個の国際会長の献身が必要です。Brian Stevenson が会長当時言ったように、われわれは奉仕するというモットーに立ち帰る必要があります。

「1分間経営者」の作家が献身(Commitment)と参加(Imvolvement)の違いをこう述べています。参加とはただ都合がよいから参加するのであり献身とはいずれにしろ成果が残るものです。私達はだれでもライオン生活の中で多くの献身をしてまいりました。ライオンズクラブあるいはライオネスクラブに入会するとき、協会の目的と道徳綱領に献身し、クラブの計画や事業に参加する誓いをしました。私達はクラブと協会およびその計画に献身することを誓いました。会員になるとき、私達は会員であることを表し、同時に協会への献身を表すバッジをつけました。私達は地域社会と世界に献身する誓いをしました。今年度私は各ライオン、ライオネス、レオが協会の目的と道徳綱領、入会時の約束、ライオンズ・バッジ、人道奉仕に改めて献身を確認するよう求めます。また、私は各クラブに対して、この1年、国際的計画への参加を求めます。

5. 90年代の10年間は歴史の中で最も挑戦的な時期であり、ライオン、ライオネス、レオの私達すべては共通の目標と指名を持つ集合体に共に参加する意思と願いを持っているものと信じます。

他の人はなんと信じようが、私達はクラブと地区のゆるやかな集合体あるいは他組織の仕事をしている歩兵部隊以上のものであると信じます。問いかけがなされました。「私達が奉仕しようとしている大衆が、協会に対して、グローバルな結合された結果的なボランティア活動を期待できようか？」答えは明瞭であり、できるということです。それは毎日起こっています。私達は結合力のある組織として運営できるでしょうか？　私達はライオン、ライオネスレオを未来の人類のために、かつてない共同的な努力に向かって動員できるでしょうか？　絶対にできます。

私達は共通の目的のために私たちを結合させる意思と能力のあることを、多くの方法で明確に示しています。

第一の例は薬物乱用防止活動で、これにはライオンズークエスト計画が含まれています。それは協会を始め、今は他の団体も参加しています。この計画は共同で奉仕するほうがよりよく奉仕できることを示しています。他の例は視力第一(Sight First)計画……盲目を征服するライオンズです。それは協会中の全ライオン、ライオネス、レオの支持を得るものと確信しています。

しかし、私達が完全に今日の世界に適合し、献身していることを示さなければ、他に対して献身を求めることはできません。この協会の未来は個々のラ

イオン、ライオネス、レオであるあなたと私の献身の度合いにかかっています。あなたはどれだけ多く与える意思がありますか。この協会の目的と奉仕精神に献身する意思がありますか。私自身は完全に献身します。みなさんも同様と存じます。

6. 今年度の最初の献身は、かつて国際協会が企画した奉仕活動の中で最も野心的で広範な国際的奉仕に着手することです。視力第一……盲目を征服するライオンズ。

ある物語をお話しし、歌をうたうことによって終わりたいと存じます。これら2つライオン、ライオネスとして私達が行っていることの意味をより明確にします。

この物語は事実です。協会を代表して地区で講演した私の知るある元国際理事に起こったことです。地区大会に出席するために、彼は航空機乗り継ぎの待ち合わせをしていました。彼の向かいには5歳ぐらいの少女を連れた若いカップルがいました。彼女は、椅子の上で跳んだりはねたり走ったりしている子供であることを十分に楽しんでいました。彼女は探険し、笑い、楽しい時を過ごしていました。全く突然彼女はこのライオンの前に立ち止まり、彼を見つめ、最初にライオンズ・バッジを見て、「それは何ですか」と尋ねました。彼は下を向き、「これはライオンズ・バッジで、私の所属するクラブを表しているんだよ」と言いました。彼女は表情を変えずにこのライオンを見上げ、「ライオンズって、何をするの」と言いました。最初彼はこの小さな5歳の子からこの質問に戸惑いました。彼は落ち着きを取り戻し、視力保護、薬物乱用防止、糖尿病、ＬＣＩＦなどの国際的にライオンズが遂行した事業を話し出しました。彼はしばらく話し続けましたが、彼女は遊んでおり聞いていないようでした。そこで男は言いました。「ライオンズは何をするの」。彼女は彼の方を向き、顔に笑みを浮かべて言いました。「ライオンズが何をするか知っているわ」。「ライオンズが何をするか知っているなら、教えて」。大きな笑みを浮かべ、この少女はそれを明瞭な言葉に置き換えて言いました。「彼らは愛を与えるの。そうじゃない？」

ライオン、ライオネス、レオのみなさん、今年は心で生きてみませんか？　頭で計画を立てても、心で奉仕してみませんか？　人々が表面的な不一致を忘れ、偏見を除き、心と心を基盤としてあい向かうなら、どんなに違った世界になるでしょう。

これは、世界の問題の解決にはあまりにも簡単な方法に過ぎないでしょうか？　私はそうは思いません。人々が人類創造の神聖な目的を深く信じている限り、人間の心が終局的に勝利する希望があります。角膜が陽の光や愛する者の顔を見たこともない人に提供されるとき、心は支配的になります。それはライオンズが演出する奇跡です。個人が他人に食物や住み家を与えるとき、友情の手が大洋や国境を越えて差し伸べられるとき、心がものを言います。個人が、寂しい忘れられた人のために、自分の個人的な楽しみを捨てるとき、心は建設の力となります。愛と生活の精神的基盤が確立していると人々が確信するとき、人の心はその力を発揮します。「保持できない者を与え、失いえない者を得る者は愚者ではない」

みなさんとともに歌をうたいたいと存じます。それは私が一人では歌わないものです。それは共に団結した声と精神とを必要とします。言葉はとても簡単なものですが、ライオンズの真髄を捉えたものです。コーラスで私とともに歌って下さい。「心から直接出たものならば、どんな言語によろうとも、愛は人を結びつけ、決して離さない。ひとたび愛を語ることを覚えれば、世界は耳を傾ける。どんな言語によろうとも、愛はここでは雄弁だ」。

LIONS CONQUERING BLINDNESS

SIGHTFIRST

1990～91年度
国際プログラム

1980年代に私達の協会は、根本的に大変化した。1990年には女性ライオンズが約3万人いること、ライオンズは薬害教育の課程を世界中でスポンサーして大成功させるということ、財団には3万人以上のメルビン・ジョーンズ・フェローがいるということ、そしてハンガリー、ポーランド、東ドイツ、エストニアでライオンズが地域社会奉仕をしているということを、1980年に誰が信じただろうか。

協会は確かに大きく変化したし、まわりの世界でも変化が響き渡っている。この1年間に、普通は遅いスピードで起こる政治的変革が、急に速度を増した。象徴的及び事実上の壁が、両方とも崩れ落ちた。人々は新しい自由を獲得し、20世紀が消え去ろうとしているのと同様に、昔の敵意や偏見が消え去ることを望み始めている。

ライオンズは、この10年間に大成功を収めた故に、益々自信をもって新しい世紀に立ち向かっていくことが出来る。1990年代には、ライオンズの献身的努力で「われわれは奉仕する」という言葉の意義が更に深まるに従い、恵まれぬ人々の将来も段々と明るくなるとライオンズは信じて疑わない。

米国ミズリー州セントルイスにおける第73回国際大会で正式に紹介される「視力ファースト」は、ライオンズクラブ国際協会が手掛けたものの中でも、特に大規模なプログラムである。これは、協会の画期的出来事になるに違いなく、世界のライオンズの決意を土台として、人類の必死な求めに応えていくことになる。

何故、視力保護をするのか。盲人その他の視力障害者を援助することは、長年の間、多くのライオンズクラブ及び地区にとって主な奉仕事であったが、国際的な主要奉仕事業として行ったことはなかった。更に、ライオンズその他のグループが努力を続けているにも拘わらず、予防又は治療可能な失明との闘いには、負けそうになっているのである。

世界保護機関（WHO）の保守的な推測によると、世界で約3千万人の人が失明している。そのうち90パーセントが発展途上国に住み、これらの国では、経済的及び社会的な資源不足のため、盲人は仕事もできず孤立し早死にしていく。同時に、失明の80パーセントは、予防するか治療して視力を回復させることができるのである。しかし、失明に対処する努力を直ちに激増させなければ、25年のうちに、失明者の数は簡単に2倍になるだろう。

1986年に国際理事会は、糖尿病教育と薬害教育が主要国際プログラムの立場から普通の継続的プログラムの立場に変わる1990年代に、目を向けた。将来のプログラムに関しては、主に長期計画委員会で話し合いが行われた。同委員会は、各レベル及び各地域のライオンズ、並びにライオンズ外の専門家から意見や助言を求めた。1988年までには、二つの観念が明らかになった。(1)協会の最大の力と意欲は視力関係のプログラムにあり、(2)この問題は21世紀に入ってからも我々の最善の努力を必要とする、ということである。

薬害及び糖尿病教育において行ったのと同時に、協会はこの分野で世界的に顕著な専門家を探した。これらの専門家は1989年3月にシンガポールに集まり、長期計画委員会及び他のライオンズ・リーダーと共に世界の視力問題を研究し、ある特定の成果を上げるための対策を検討した。

その結論と勧告は何か。ライオンズには、組織機構と人材があり、最も大切なことに、視力関係の大事業を手掛けようとする決意がある、という結論があった。又、予防及び治療できる失明を抑えることに、事業の焦点を合わせるべき、という勧告が出た。理事会はこれに同意し、1989年11月に下記の観念に基づくプログラムを承認した。

1. 予防及び治療できる失明を撲滅するチャレンジを受け入れる。
2. 長期的効果のある解決推進を目的に、発展途上国内で施設及びプログラムを設立する。
3. それぞれの地域における失明の主な原因に、このプログラムを適応させる。

特に先進国では、他の国における視力問題の深刻さが理解しにくいかもしれない。例えば多くの国では、白内障の手術はほとんど誰でも、外来患者として受けることができる簡単なものである。しかし白内障は、治療できる失明の主な原因で、世界に約２千万件である。

予防できる疾患である糸状虫症、トラコーマ、ビタミンA欠乏による失明は、更に何百万人もの人に起こっている。先進国でも、糖尿病性網膜症及び緑内障がしばしば不必要に視力を奪っている。

ライオンズクラブの世界的ネットワークに加えて、地域社会および全国的な委員会又は機関との協力が、プログラムのゴール達成の鍵となる。現在、詳細の計画が進められており、協会各レベルのための参考資料が作成されているところである。ライオンズ、ライオネス、レオの全員が果たすべき役割があるので、協会からの通信及びライオン誌の記事に注意して頂きたい。米国オハイオ州シーダーポイントのライオンズ大会で65年前、勇気のある素晴らしいヘレン・ケラー女史が予防できる失明を１日も早くなくすように、とライオンズにチャレンジを投げかけた。そのような日はまだ来ていないが、「視力ファースト」の実施で、その日が目に見える時は近いうちに来るだろう。

我々パートナーは ＬＣＩＦ

「視力ファースト」の1996年６月までの経費見積もりは、１億ドルを一寸超え、ＬＣＩＦが資金提供の主な機関となる。また、失明予防国際機関（International Agency for the Prevention of Blindness）及び世界保健機関（ＷＨＯ）など、幾つかの機関とも密接に協力することになる。

ＬＣＩＦは既に、「視力ファースト」第１段階のために資金を提供した。今まで行って来た他の事業も続けていかなければならないので、これから更に必要となる資金を集めるのは、大きなチャレンジである。しかし、皆が力を合わせ、大社会や財団の援助を受ければ、資金は必ず集まる。

ご存知の通り、ＬＣＩＦはその20周年の年に２万人目のメルビン・ジョーンズ・フェローを獲得した。財団はつぎに、協会の75周年を祝う 1992年までに７万５千人のフェローを集める、というゴールを立てた。全クラブ（即ち貴クラブ）が、少なくとも毎年１人ずつのメルビン・ジョーンズ・フェローを出したら、このゴールをはるかに越えることができ、「視力ファースト」の夢も実現するに違いない。

ＬＣＩＦは近々、資金獲得のプランを各クラブに知らせることになる。しかし、それを待たずにＬＣＩＦへの支持を表して頂きたい。ＬＣＩＦへのドネーションが１日でも早く集まれば、予防できる理由で失明する人のいない日も、それだけ早く来ることになるだろう。

会員にも 新しいプランが

今年から、クラブ会員委員会が発足する。同委員会の各メンバーは、３年間その役を務め、３年目のメンバーは委員長となる。委員長は、クラブ理事会のメンバーともなる。

この委員会設立で、1986年に始まった会員及びエクステンション・プログラムの再組織が完了する。この 1986年に国際理事会は、着実な年次純増加を、基本的ゴールとした。さらに、この目標達成の方法は３種だけである、と決議した。

1. 新クラブ結成
2. 既存のクラブへの新会員入会
3. 退会者減少

会員及びエクステンションの責任を一つのものにまとめるため。関係する理事会委員会と本部担当課の再編成が行われた。エクステンションと会員の責任は、複合地区レベルでも合併し、地区会員及びエクステンション委員長から成る一つの複合地区会員委員会にま

とめられた。この委員長の仕事の継続性を図るため、3年間の任期が奨励されている。

全般的に、訓練を受けたライオンに主な責任が課せられる。すべての要素が整い、これから着実な会員純増加を達成させていく骨組みが、出来上がったことになる。

大々的な奉仕の目的を達成させるには、この年次増加が不可欠である。クラブは純増加を達成しているだろうか。クラブ会員委員会が設けられ、機能を果たしているだろうか。クラブ会員プランは出来上がっているだろうか。これらが達成されていないなら、先ずクラブ会員委員会を組織することから始めよう。

どの地域社会にも、年令、収入、職業、そして時には人種の違う人々が混ざっている。徹底的な会員プランを組むには、これらの要素も考慮に入れなければならない。高齢者の多い町で、若い新会員だけ求めても仕事がない。又、奉仕の精神に富む女性も忘れてはならない。

自分達の地域社会を良く知ると共に、自分達のクラブについても知る必要がある。会員プランの一部として、クラブの評価を行ってはどうだろうか。この評価用紙は、毎年各クラブに送られるが、追加分を希望する場合には、国際本部のプロダクション及びコミュニケーション部から取り寄せる。クラブの力と弱点が分かり、会員増強及び奉仕の面で、クラブのためになるだろう。

新しい時代の指導者

活発で献身的な会員 ••• 強力な土台 ••• 活気のある奉仕プログラム。これらが揃えば1990年代に入っても、クラブはこの新しい年代との関連性を維持し、効果的な活動を続けていけるのである。

ライオンズクラブは長年の間、失明予防に尽くしてきた。ライオンズの援助のお蔭で、何百万人もの盲人が、社会に貢献できる人生を送れるようになった。しかし、まだ何百万人もの人が不必要に失明しており、誰かが指導者となって闘いを始めなければ、その数は更に増えていく。

ライオングクラブ国際協会は、このチャレンジを受け入れたのである。この仕事は簡単ではないが、世界最大の奉仕クラブ組織になったのも簡単ではなかった。世界の大多数のアイバンク及び盲導犬訓練所を設立することも、簡単ではなかった。

「われわれは奉仕する」のモットーを実行に移すことは、決して「簡単」ではない。しかし今、何百万人もの人の暮らしを向上させる絶好の機会、そしてこの1990年代を振り返った人々が、これはライオンズが失明を征服した時、と言えるようにする機会が待っているのである。

是非とも、ご協力をお願いする。

10月会員増強プログラムに参加しよう！

あなたのクラブ、地域、地区、国がライオンズ会員を必要としています。

世界最大の奉仕事業組織に、友人、同僚、隣人を招き入れ、よりよい社会づくりのリーダーとなりましょう。

月例報告書10月分で報告された新会員のスポンサーには、上のようなピンが贈られます。

本年度の抱負と方針

＝キャビネット構成委員等＝

幹事と会計

地区幹事　L．関　重雄（佐原L.C）

L経歴

1978年～1979年　333-B地区ＰＲ情報委員
1980年～1981年　クラブ幹事
1984年～1985年　国際協調ＹＥ委員
1985年～1986年　ＹＥ委員
1986年～1987年　ＹＥ副委員長
1987年～1988年　クラブ会長

佐原ライオンズクラブが誕生して25年、この大きな節目の時に、佐原クラブにキャビネットが参りました。人間も25才と言えば大人、佐原キャビネットの誕生を我ながら誇りにしながらも、事の重大さに、身の引き締まる思いです。

長島ガバナーは、熟慮、決断の人、ガバナーの女房役として足を引っぱらないよう、心したいと考えております。そして、4,000有余名の奉仕の心を無駄にしないよう、ガバナーへの橋渡し役として、耳をかたむけ、多くのものに眼を向けて、一年間頑張りたいと考えております。幸いにも、大崎保司副幹事、関謙次郎副幹事とは、私がクラブ会長をつとめた時に、幹事、会計と、コンビを組んだ仲、お互いに気心を知っており、又、清宮浩副幹事は、企画にかけては、佐原クラブでは右に出る者のない人、この頼もしい３人の助っ人に、私の至らないところはカバーして戴こうと、今から頼りにしております。

ガバナースローガンの「広げよう、愛の奉仕と緑の輪」　緑は、昨年の寺嶋周三前ガバナーからの継続になりました。緑が今、この地球上で如何に大切かは、誰もが痛感しているところだと思います。ガバナー方針の心を、333－Ｃ地区の会員一人ひとりに理解していただく事が、私達キャビネットの務めと考えております。333-C地区の伝統を守るために、一歩一歩、息を切らさずに一年間努力するつもりでおります。どうぞ皆様の惜しみないご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

地区会計　L．斉藤一夫（佐原L.C）

L経歴

1975年～1976年　会計
1976年～1977年　幹事
1982年～1983年　会長
1989年～1990年　4R1ＺＺC

〈キャビネット会計の心構え〉

今回キャビネット会計に任命され、その職責の重大さを痛感し、浅学非才の身ながら、懸命に努力いたす所存であります。長島ガバナーの御指導のもと、関幹事共々地区財政の健全化と各クラブ財政の相談役的役割とを推進していきたいと思います。

複合地区ガバナー協議会の運営要項によれば、キャビネット構成員は、常に微笑をたたえ、事にあたっては、こんな人でありたい。

(1) 無　　私……自分の利益を無視して時間、労力、智力を捧げ尽くす人
(2) 勇気・決断力…向上のために、今までの手法習慣を変える事を恐れない人
(3) 説　得　力……人を見て法を説け、相手に合わせた話法の出来る人
(4) 謙　　譲……偏見を捨て、私情を挟まず、一歩下がって事に処せる人
(5) 冷静・忍耐……気まずい状態でも常に礼儀を忘れず、大所高所より判断出来る人

と記されておりますが、私にはこのような人にはなり得ないし、又望むべくもないが、長島ガバナーのモットーであります誠意と努力により、一歩でも近づければと念願する次第であります。

皆様方の御指導と御支援をよろしくお願いいたします。

RC

1R－RC　L．和田康男（松戸中央LC）

L経歴

1977年～1978年　第3副会長
1980年～1981年　第4代会長
1987年～1988年　ZC

1R．RC就任に際して

寺嶋前ガバナーは「継続は力なり」と言われました。長島ガバナーは、寺嶋ガバナーの方針を継承し、充実しようと思って居られます。私は、今年度、長島ガバナーの信条「誠意と努力」を座右に、

①長島ガバナーの方針を遵守し、盛りあげたい。
②太田、保科、山田ZCと連絡を密にし、ZCの皆様の仕事が、やりやすいようにしたい。
③3人のZCの皆様のお供をし各クラブを訪問したい。
④長期計画、リサーチ、指導力開発委員会の充実、等を考えて、努めて行きたいと思っています。

皆様の限りなき友情、ご支援をお願いいたします。

2R－RC　L．小石　税（千葉ポートLC）

L経歴

1982年～1984年　船橋ポートLC会長
1985年～1986年　ZR1ZZC
1988年～1989年　PR情報委員長

船橋ポートLCが結成され9年目に、長島ガバナーのもとで、2RRCの大役を任命され大変光栄でございます。

ガバナー・スローガン「広げよう　愛と奉仕と緑の輪」の方針を、2RZCの協力を得て、2R内に理解し実行出来る環境をつくり、リジョン内運営を行いたいと考えています。

先輩ライオンのご指導と協力をお願いいたします。

3R－RC　L．木内喜右衛門（成田LC）

L経歴

1966年～1967年　幹事
1970年～1971年　会長
　　五周年記念特別委員長
1979年　15周年実行委員長
1986年～1987年　ZC
1990年～1991年　RC

成田LC25周年を迎え、成田LCよりRCの推薦を受け引受けた以上、誠意を以て第3リジョンのため、ガバナーの主旨を体し努力するつもりです。

3人のZCの皆様と力を合わせ、第3リジョンの各会長、メンバーの声を聞いて頑張るつもりです。よろしく御支援、御協力をお願いいたします。

4R－RC　L．青野虎二（東庄LC）

L経歴

クラブ会計2回
クラブPR情報担当
クラブ会長2回
1981年～1982年　第4R第1ZC
1985年～1986年　地区PR情報委員長

私の抱負

1. ガバナーの意図をリジョン内に徹底する。
2. RCの任務を全うする。
3. 会員の増強を図り退会防止に努める。
4. クラブの融和と会員の親睦を図る。
5. 国際性の向上を意図する。
6. クラブの相談相手になりたい。
7. よりよいアクトを実現する。
8. ライオンズ会員として如何にあるべきか、何をなすべきか、してはいけないことは何か。
9. ライオンと呼ばれる人でありたい。

RC

5R－RC　L．木場冨久美

L経歴

1976年～1977年　クラブ幹事
1978年～1979年　クラブ会長
1979年～1980年　地区年次大会副委員長
1980年～1981年　5RZC
1987年～1988年　地区委員長

RCという重い役職を受け、伝統ある5R、8クラブの運営の手助けが出来るか、誠に不安ですが、先輩Lの指導を賜り、2人のZCを始め地区役員やクラブ3役の方々と連携を密にし、出来るだけ平常心で任務の遂行に努力する考えでおります。本年度の長島ガバナーはすぐれた地区方針は継承するという信念から、ACTスローガンを「広げよう、愛の奉仕と緑の輪」とされました。ガバナーの精神をメンバー総てが理解を高めるよう努めて参りたいと思います。

クラブ運営は質素にし、古い伝統の上に新しい感覚でクラブの活性化が図られるよう相互理解を深めて参る所存です。どうか宣敷く御協力の程をお願いいたします。

7R－RC　L．原田秀夫（茂原長生LC）

L経歴

1969年～1970年　LC幹事
1972年～1973年　LC会長
1983年～1984年　ZC
1984年～1985年　地区指導力開発委員長

此の度第7RRCに就任しその職責の重大さを痛感致しております。而し乍らお引受け致しました以上は微力ではございますが、ライオンズ国際協会々長のプログラムならびに333－C地区ガバナーの方針にのっとり、地区ライオンズ憲章を遵守し、特にメンバー相互の和を第一として、親睦と友情をより一層深めながら、奉仕活動に精進し、各クラブの健全な強化向上を図り、ライオニズムの昂揚に努めたいと思います。何卒ZC、PR情報委員を初めとし第7Rメンバー各位の御支援と御協力を心からお願いいたします。

6R－RC　L．小谷八十吉（房州白浜LC）

L経歴

1987年　白浜LC20周年式典委員長
1987年　白浜LC会長
1988年　6R2ZZC
1990年　6RRC

今回RCの要職に選任され力量不足の私に重大な責務を果せ得るか不安の念をいだきながら、キャビネット構成員等研修会に出席し、長島ガバナーの人柄そして若さと情熱あふれる力強い決意に接し、微力ながらその任を果す決心をいたしました。

ACTスローガン「広げよう、愛の奉仕と緑の輪」を現実のものとして地区ライオンズ5つの憲章を忠実に守りウイサーブの精神に徹し地域社会に密着した愛されるライオンズクラブとして活動していく様努力したいと念じておりますので、先輩各位の御支援と御協力を切にお願いいたします。

ZC

1R1Z ZC　L. 太田　崇（市川北LC）

第三代会長
環境委員長
PR情報委員長
理事

栄光と伝統に彩られるライオンズのZCとしての責務も旬日の後にスタートする日も迫って日々に身の引きしまる思いが強くなって来ます。
抱負と云う大それたものは特にありませんが，キャビネットとゾーンのパイプ役として「和」と「誠実」をモットーに，任期を只管に進み，皆様の善意と情熱を最大限に引き出すべく努力する所存ですので宜しくお願い致します。

1R2Z ZC　L. 保科　保（松戸東LC）

1985年～1986年　第一副会長
1986年～1987年　会長(五周年)
1987年～1988年　前会長
1988年～1989年　接待委員長
1989年～1990年　指導力開発委員長

複合地区の分割は非常に困難と聞いているが，故吉原Lを始めとする諸先輩Lのご努力で，333-C地区として独立してから早や10年が経過した。しかし此の地区もRやZの再編成の時期に来ていると考えるのは早計だろうか？
是非共此の問題に取り組み早急に実現したいものだ。
“リーダーは向上の為なら今迄の方法，習慣を変えることを恐れない”と云う。

1R3Z ZC　L. 山田　宏（柏中央LC）

1982年～1983年　会長

この度，ZCの大役をお引き受けするに当り，その責任の重大さに身の引き締る思いです。
ガバナーの地区運営，施策の伝達，ゾーン内各クラブの運営の適正化，事業の活性化等，浅学非才ですがお役にたつべく，努力を惜しむことなく一年間悔のないよう任務を果す所存です。
皆様方の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。

2R1Z ZC　L. 三橋恒夫（船橋LC）

人の行動規模は過去の経験，知識に基づいて形成される。そしてそれが一般的な型，スケジュールとして定着すれば「常識」となる。このことはライオンズ活動においても例外ではないと思います。だが常識は時代の進展とともに陳腐化しむしろ害にもなりかねない場合もありえます。活力をもたらす唯一の方法は何か？についてこの一年間皆さんと共に意見交換し合いたいと思います。

2R2Z ZC　L. 杉岡昌明（八千代LC）

1984年～1985年　第３副会長
1985年～1986年　第２副会長
1986年～1987年　第１副会長
1987年～1988年　クラブ会長
1989年～　20周年記念式典実行副委員長

今期ZCを拝命しその責務の重大さを痛感しています。内政派の私には，外政は苦手で，大海にこぎ出した小舟の心境です。
本年，我がZ内に八千代東LCが誕生。CNを10月に迎えます。そのCNを成功さすべくまず努力します。
長島CABと２Z内７クラブのパイプ役として，温故知新の心情で，ライオンズアイデンティティの確立に精進します。
御指導お願いします。

3R1Z ZC　L. 楠岡　巌（四街道LC）

1981年～1982年　会長
1986年～1989年　YE国際協調委員長

国際空港を地区内にもち，国際交流も活発な同地区は世界に先駆け東欧との交流もはじめ奉仕と友情の輪は益々拡がり，LCが期待される新たな役割りと交流が生まれつゝあります。ガバナースローガン「広げよう愛の奉仕と緑の輪」人間が豊かな心をもつために美しい地球，緑あふれる地球にするためにキャビネットとのパイプ役を１年間頑張っていきたいと思っております。

3R2Z ZC　L. 渡部正彦（千葉中央LC）

1979年～1980年　会長
1983年～1984年クラブ会計監査
1987年～1988年　〃
1988年～1989年　二年理事
1989年～1990年　一年理事

LC設立に参画して26年目，分割を繰り返し乍らC地区の独立まで，原点に戻り初心忘れじの心境，非力とばかり言っては居れぬ。当番となれば必携，地区憲章，CABの方針に従い傘下末端まで浸透のためのパイプ役，もうやるしかない覚悟。誠を以て尽すのみ，慌てて古いLC関係の書類に目を通す日々。
50余年前の「今からでも遅くない」乞う今後のご協力を！

3R3Z ZC　L. 村田増雄（千葉京葉LC）

1977年～1978年　テールツイスター
1981年～1982年　副幹事
1985年～1986年　会長
1987年～1988年　理事
1987年～1990年国際協調委員長

ZCと云う大役をお引受けしこの責任の重大さを身にしみて感じています。
ガバナー方針を理解し，キャビネット会議の決定事項を，各クラブに的確に伝えるパイプ役に徹し，ゾーン内各クラブの交流を計り，愛をもって社会に奉仕出来る立場を感謝し，この職を全うしたいと思いますと共にクラブ会員の方々と，ライオニズムについての勉強をして行きたいと思います。

4R1Z ZC　L. 木内保信（神崎LC）

1971年７月　第二副会長
1973年７月　第一副会長
1974年７月　会長
1975年７月　前会長
1976年７月　理事
1981年６月迄　理事

広げよう，愛の奉仕と緑の輪を基として，単位クラブの尊厳と自主性を重んじて，地方のカラーで友情と団結を計る。

4R2Z ZC　L. 越川兼二（旭LC）

1978年～1979年　会員委員長
1979年～1980年　第一副会長
1980年～1981年　会長
1985年～1986年　会員委員長
1989年～1990年　会則付則委員長

豊かさの奥で使い捨て浪費型の弊害がゴミ戦争や水質汚染，食生活や健康にまで及び地球温暖化，酸性雨等と深刻な地球環境破壊が進行しております。又アジアの森林から切り出された木材の60%が日本へ輸出されている現状を思い「広げよう愛の奉仕と緑の輪」時宜を得たすばらしいガバナースローガンを体してゾーン内８クラブの各位と共に努力したいと思います。

ZC

5R1Z ZC　L．梅津潤二（木更津金鈴LC）

1984年～1985年　会長

私も20年近く在籍させて頂いておりますが，10年１昔と言いますがライオンズの活動は当初と現在では世の中が大きく変化しています。より地域に密着したち密な活動，そしてスローガンである世界平和貢献する大局な活動がこれからのライオンズの方向かと思います。それには先ず会員の相互理解の精神の高揚にあります。１年間宜敷く御指導御支援お願い致します。

6R1Z ZC　L．岩瀬定雄（館山北LC）

1 84年～1985年　会長
1987年～1988年　会長

この度，計らずもＺＣの大役を引き受けて，その責務の重さを痛感いたしております。

ガバナー方針に添った，積極的な活動が行なえる様，努めたいと考えております。そのためには，ゾーン内各クラブの自主性を尊重し，クラブ相互の融和を図るとともに，地域に密着した活動を展開したいと考えております。皆様の御支援，御協力をお願いいたします。

7R1Z ZC　L．安川恵司（茂原LC）

1967年～1968年　幹事
1975年～1976年　会長
1967年～1968年　地区ＰＲ情報委員
1984年～1985年　地区ＰＲ情報委員長

継続は力，すぐれた方針は継承そして発展。本年度ガバナー方針の
1.「育てよう，緑の大地，住みよい環境」
2.「広げよう，愛の奉仕と緑の輪」
以上のスローガンをゾーン内に，「誠実」「迅速」「正確」にメンバー一人一人に伝え，これが推進を図り成果を収め，地区の伝統を守るための一助に供したい。

地区ＰＲ情報委員長　L．鈴木三郎（佐原LC）

1983年～1984年　佐原ＬＣ20代会長

本年度キャビネット構成員として地区ＰＲ情報委員長を任命され，責任の重大さに身のひきしまる思いです。幸にして各関係役員の方々，経験豊富なスタッフに恵まれ非常に力強く期待している所であります。長島ガバナーの基本的方針に基づき，委員会も独自性を持った活動を行ないきめ細かいＰＲを積極的に行なって参ります。メンバー各位のご協力をお願い致します。

地区国際協調委員長　L．本多美知男（佐原LC）

1965年　入会
1986年～1987年　会長

今や共産圏にもＬＣが出来る時代。それらのクラブとの友好そしてアジア諸国との姉妹提携更に交換事業に進展するならばこんな嬉しい事はありません。

すぐれた方針の継承発展は勿論の事。ＬＣＩＦ．ＹＥ．とは特に連繋プレーを密にと考えます。

今年は当地区単県独立十周年の節目の年に当ります。国際的視野に立っての事業に意欲を燃やしたいと思います。

地区委員長

5R2Z ZC　L．鈴木　豊（君津LC）

1979年　入会
1983年　クラブ会長
1984年　100％クラブ会長賞 受賞
1987年　地区ニュース編集委員

このたび，はからずもＺＣの大任を仰せ付かりました。感動いたしております。

もともりその任ではないことをよく存じておりますが懸命につとめて，長島ガバナーの期待に応えたいと考えております。

今を盛りと咲き匂う花をそれぞれのクラブにたとえるならば私はその花の間を飛び交う一匹の蜂になりたい。

ご叱正ご支援のほどを。

6R2Z ZC　L．金高秀年（房総勝浦LC）

1980年～1981年　幹事
1982年～1983年　会長
1984年～1985年　6R2ZZ幹事
1987年～1988年　6R2ZZ幹事

会員の増強と退会者０を目標に楽しい例会をモットーとしてＬＣに対して限りない魅力と誇りを持ち，社会に奉仕することに喜びと感動が感じられる様微力ながら精進努力を致すつもりです。

7R2Z ZC　L．土田常彦（九十九里LC）

1989年　初代幹事
1984年～1985年　会長

４クラブ員 189名の頂点に立って，より良きライオンズクラブを作るためキャビネットの通達を良く守り，これから１年間４クラブを指導いたしたいと思います。

会則・会員増強ＥＸＴ委員長　L．鏑木　護（旭LC）

1966年2.13　旭ＬＣ結成ＣＭ
1967年～1968年　会計
1977年～1978年　旭ＬＣ会長
1990年～1991年　会則会員増強●委員長

ＬＣの使命は地域社会の発展のみならず，世界的視野の活動です。Ｍの増強新Ｃ，ＥＸＴに依りＣに新血を注入して若返りを図る事が奉仕の原動力に結ばれると思われます。私も会則会員増強ＥＸＴ委員長の重責を負って全力を挙げ，努力するつもりですので会員増強ＥＸＴに関する情報の提供や協力の呼びかけをして下さいますよう各Ｃにお願い致します。

地区ＹＥ委員長　L．青木　孝（松戸東LC）

1981年～1982年　クラブ初代会長
1987年～1989年　地区国際協調・ＹＥ委員
1989年～1990年　地区ＹＥ副委員長

地獄のＹＥ・恐怖のサマーキャンプ洗礼をうけること３年，本年度は委員長として地区ＹＥ活動を遂行することになり，その重責を痛感しています。各クラブがＹＥについてよく認識され，積極的なＹＥ生の派遣・受入れ活動を希望しています。

地区委員長

地区ＬＥＯ委員長　**Ｌ．村松　卓**（館山ＬＣ）

1988年～1989年　複合地区会則会員委員
1989年～1990年　複合地区レオネス委員
1990年～1991年　地区ＬＥＯ委員長

『国が持っている財産の中で，いちばん大きな財産は若者である』まさに然りである。現代社会における青少年の指導育成はライオンズクラブに与えられた重大なＡＣＴのひとつであるので速やかにレオクラブ結成に向かって努力すべきである。対象が青少年であり，かれらをよい青少年に育てるにはライオンズクラブ会員の熱情愛情忍耐と大いなる努力が必要であります。

地区長期計画・リサーチ・指導力開発委員長　**Ｌ．吉田政勝**（習志野ＬＣ）

1977年～1978年　会長
1987年～1988年　地区会計監査委員
1988年～1989年　地区年次大会顧問

当委員会は大変重要な委員会だと言われております。長期的視野にたってのよりよい地区運営へのお手伝いをさせて頂きたいと思います。複合地区の同委員会と連絡をとり乍ら，又準地区のあらゆる委員会とも密接な関係にあります。お互い連携を保ち乍らよりよい地区運営のために努力したいと思います。ご指導とご協力をお願い申し上げます。

地区環境保全・合同ＡＣＴ研究委員長　**Ｌ．高塚　昇**（佐原ＬＣ）

1980年～1981年　会長
1985年～1986年　ＺＣ

今年度地区環境保全，合同ＡＣＴ研究委員長の役をおひきうけし，その責任の重さを痛感しております。

環境保全については，現在地球的規模でとりあげられておりますが，ＬＣは関係団体と協力し，ＰＲとその実行を強力に推進しなければならないと思います。合同ＡＣＴは，Ｃ地区全体の社会福祉の向上に役立つものを研究してゆきたいと考えております。

地区視聴力保護・言語障害盲人福祉委員長　**Ｌ．鈴木八郎**（八日市場ＬＣ）

1975年～現在　天神山特別委員長
1985年～1986年　年次大会副委員長
1987年～1988年　ゾーンチャマン

政府は高齢化社会に対応した公共福祉サービスの充実を検討し「高齢者保健福祉推進十カ年戦略」を作成いたしました。その政治の谷間の光の届かない所にライオンズの光を当て障害者については個々の障害者の条件に応じて最大限の自立促進，社会参加をはかる事を，クラブ員一同力を合わせて援助の手をさしのべたいと思います。

地区会員大会参加委員長　**Ｌ．平山昭二**（多古ＬＣ）

1983年～1984年　会長
1989年～1990年　4Ｒ2Ｚ幹事

本年度キャビネット構成員として，地区会員大会参加委員長を引き受けて責任の重さを痛感しております。長島ガバナーの方針にもとづき微力ながら精一杯努力するつもりです。各種大会へ，より多くのメンバーが参加するよう呼び掛け，積極的に参加することにより，より多くの交流を通じて友情・親善・相互理解の絆を強くし，融和をはかってゆきたいと思います。

地区ＬＳ委員長　**Ｌ．石井三郎**（富津ＬＣ）

1985年～1986年　複合地区レオライオネス委員
1987年～1988年　キャビネット副幹事
1988年～1989年　5Ｒ2Ｚ・ＺＣ

ＬＳＣも12Ｃとなり各Ｒに結成の機運が盛上がり喜こばしいことです。ＬＣの会員に女性が入会出来る今でも，女性のみにしか出来ない奉仕活動は，いささかもゆるぎません。

数は力なりと云いますが，一人では出来ない奉仕，一Ｃでは出来ない奉仕，まさにWeServeを力を合せて実行しましょう。そのお手伝いが出来るよう頑張ります。やってやれない事は無いやらずに出来る事はない。よろしくお願い致します。

地区薬害教育・糖尿病教育委員長　**Ｌ．牛嶋静人**（佐原ＬＣ）

1965年　入会（チャーターメンバー）
1968年～1969年　会計
1974年～1975年　幹事
1978年～1979年　会長
1983年～1984年　ＺＣ

今麻薬の密輸や常習者の増加が，国際的に極めて深刻な問題になっています。

ウイリアム・Ｌ・ウーラード前国際会長は，薬物乱用の災いを撲滅する為に，全世界のライオンズに心からなる協力を要請されましたが，今年も当面するライオンズの最大課題として取り上げられることと思います。各クラブ共麻薬撲滅の為の教育を強力に推進されるようお願いします。

地区ＬＣＩＦ委員長　**Ｌ．山口英広**（東庄ＬＣ）

1977年～1978年　東庄ライオンズクラブ幹事
1981年～1982年　第一副会長
1982年～1983年　第一副会長
1983年～1984年　クラブ幹事

人尊主義的奉仕活動についてライオンズクラブの一員として20年を過し，常にＡＣＴについて考え，実行にあたってきましたが，その成果につきましては常に反省の念にかられてきました。

このたび，地区ＬＣＩＦに委員長と云う大任を仰せつかり，常日頃ＡＣＴとして，そのあり方において，その精神において，最も近代的にして，国際的である事を考え，その重大性を身に感じ，一生懸命に責務を果たしたいと思います。

地区献血・献眼・献腎推進委員長　**Ｌ．石原清道**（神崎ＬＣ）

1979年～1980年　副幹事
1980年～1981年　幹事
1981年～1982年　第二副会長
1982年～1983年　会長
1983年～1984年　前会長
1984年～1985年　4Ｒ1Ｚ・Ｚ幹事

今回大役をお引受けすることとなり，責任の重大さを痛感いたしております。献血，献眼，献腎，執れも現在必要に迫られ人の命の尊さを思うとき，特に献血は誰にも出来る奉仕でありそれによって助かる命のあることを思うとき，その身になって皆さんの御協力を切にお願いし共に頑張りましょう。

地区総務委員長（兼副幹事）　**Ｌ．大崎保司**（佐原ＬＣ）

1985年～1986年　クラブ会計
1988年～1989年　クラブ幹事
1989年～1990年　地区ＹＥ委員

今年地区総務委員長を仰せつかり即仕事の忙しさに戸惑っています。

しかし長島ガバナーのご指導によりまして微力ながら地区発展のために全力投球しますので宜しくお願い致します。尚今後皆様方に色々と御迷惑をおかけするかもわかりませんのでこの点も重ねて御願い致します。

地区委員長・副委員長

地区運営委員長（兼副幹事）

L．関　謙次郎（佐原LC）

15年セナークシェプロン賞
1989年～1990年　幹事

今年度の内局メンバーとして微力ですが，地区運営委員長をお引受け致す事になりました。
前任者を始め皆様方の御指導と御協力を頂きながら，担当の責務遂行と地区内のランクアップ目ざして，全力を傾注してまいる所存で御座居ます。マンスリーレポートの点検と指導が担当ですので，各クラブ幹事さん方と心を合わせて，地区とお互いのクラブの為良い仕事をして行きたいと思います。

地区財務委員長（兼副会計）

L．土谷勝男（佐原LC）

1985年～1986年　4R1Z幹事

本年は当地区が333-C地区として発足以来10周年を迎える年になるそうです。この節目の年に長島Lが地区ガバナーに，関L，斎藤Lが地区幹事，会計としてキャビネット構成の中核をなし，私も構成員の一員として内局に参画出来ますことは光栄でもあり不安でもあります。いずれにしましても，斎藤Lの補佐役として一年間勉強させていただきます。

地区PR・情報副委員長

L．椎名英夫（光LC）

1986年～1987年　光LCへ移籍
光LC幹事
1987年～1988年　地区YE委員
1988年～1989年　地区YE委員
1989年～1990年　地区YE特別委員

先人の築いた実績をステップに，鈴木委員長の指揮の下，ライオンズクラブ活動はもとよりクラブ活動以外で得た経験を少しでも，地区ニュース並びにPR活動の充実発展に寄与出来れば幸せです。
PR情報委員会には，100%出席し活動できるよう，最優先し活動に取り組みます。
ガバナー方針を，地区ニュースに反映させていくのが役目，懸命に努力したい。

1R・PR・情報委員

L．山本克己（松戸中央LC）

1984年　保健安全委員会
1985年　副ライオンテーマー
1986年　副会計
1987年　国際協調委員会委員長
1988年　副幹事
1989年　ライオンテーマー

この度，PR情報委員を拝命いただき身に余る光栄と存じます。
20年間の銀行員生活にピリオドをうち，現在の職業を選択，健康・家族・友人，また生来念願としていた社会奉仕に打ち込む機会にも恵まれ，最高の幸せと思います。
地区ニュースを含めたPR情報活動を通じて一歩でも地域社会へライオンズスピリットを浸透すべく努力して参る所存です。

3R・PR・情報委員

L．酒井充雄（成田LC）

PR情報委員長
YE委員長
幹事
会長
理事

地区PR委員に選出されました。責任の重大さに身の引きしまる思いを感じて居ります。カメラを駆使し，又地区ニュースを通じてライオンズクラブの活動を地域社会にPRし，理解と認識を深める為，努力致す所存でございます。
何分宜しく御指導お願い申し上げます。

地区委員

地区企画委員長（兼副幹事）

L．清宮　浩（佐原LC）

1988年～1989年　幹事
1989年～1990年　4R第1Z
Z幹事

長島ガバナーより，今年度の地区キャビネット副幹事と云う重要な役職の任命を受けましてまずは戸惑いわが身の軽卒さ，又責任の重大さに身の引きしまる思いと，私にその職責が無事務められるか不安に思って居る所でございます。しかし，お引受けした以上は，関幹事を助け長島ガバナーの方針のもとに333-C地区の運営に一助となる様黒子に徹し，誠心誠意一年間頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

地区クラブ財政委員長（兼副会計）

L．本宮健一（佐原LC）

333-C地区10周年と輝かしい年に長島ガバナー誕生に喜んで居ました処，突然地区クラブ財政委員長と云う大役を仰せつかりその責務の重さに身の引き締まる思いです。ガバナー方針を良く理解して，斎藤会計Lの補佐役として他の内局の皆様方と共に協力して，益々のC地区発展の為，一生懸命努力致します。
御先輩Lの方々の御指導と御協力をお願い致します。

地区YE副委員長

L．物部重夫（成田LC）

地区委員3年目を迎えました。地区の皆様方のご協力によりYE活動も年々活発になって参りました。
最近急速に世界はボーダーレス時代に入って参りましたが，東南アジアは一歩遅れて居ります。YE活動も今後は特に東南アジアへの派遣，受け入れに力を入れて行きたく，広く地区クラブの皆様方の積極的な参加をお願い致します。

2R・PR・情報委員

L．富士原　勇（船橋ポートLC）

1987年～1988年　テールツイスター
1988年～1989年　地区ニュース編集委員
1989年～1990年　第一副会長

2RのPR情報委員を引き受け，はりきっております。ガバナー方針を踏まえ，R内の絶大なる御支援を得て，PRと情報の二つの方向から，委員会の重要課題に取り組んでまいります。

4R・PR・情報委員

L．斎藤幸男（東庄LC）

会長1回
幹事3回
会計1回

PR情報委員という事についてなんの経験もなく引き受けてしまいました。
然し乍らライオン歴21年の経験からすれば何とかやりこなせるのではないかとも図々しく考えても居ります。R内のメンバー各位の御協力をいただき，各クラブとキャビネットとの情報伝達係のような仕事をするつもりで努力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地区委員

5R·PR情報委員　**L．安田正吾**（袖ヶ浦LC）

1983年～1984年　会長

今年ＰＲ情報委員という大役を引き受け，今更ながら身の引き締まる思いです。

キャビネットと各クラブのパイプ役が少しでも出来ればと一生懸命頑張っていくつもりです。

メンバーの皆様にはよろしく御協力下さいます様お願い致します。

6R·PR情報委員　**L．大和田新太郎**（房州白浜LC）

1985年　ライオンテーマー
1986年　二年理事
1987年　一年理事
1988年　幹事
1989年　副幹事

浅学非才のこの身なれど，この度６ＲのＰＲ情報を担当させていただくことになりました。

就きましてはライオニズムあふれるメンバーの活動情況を広く地域社会へＰＲし，あわせてメンバー間の情報交換促進に努めてまいる所存です。皆様方のご指導ご協力の程，よろしくお願い申し上げます。

7R·PR情報委員　**L．菅原　明**（茂原長生LC）

クラブ幹事
クラブ会長
キャビネット副幹事

この度，ＰＲ情報委員に任命され，その責任の重さに身の引き締まる思いであります。単県独立10周年の年に二度目のキャビネット経験となります。第７Ｒの皆様には１年間よろしくお願い申し上げます。また地区ニュースへ掲載の原稿，写真（楽しい例会の模様など）をご提供して下さる様お願いいたします。

地区ニュース編集委員　**L．木内忠彦**（佐原LC）

「育てよう緑の大地，住みよい環境」そして本年「広げよう愛の奉仕と緑の輪」せゝらぎから大河へ……山河は人を作ると云われます。

研鑽を重ね，自分に与えられた仕事を忠実に精一杯頑張ってゆく所存です。

メンバー各位のご助言，ご指導を心よりお願い致します。

地区ニュース編集委員　**L．椎名茂樹**（佐原LC）

地区ニュース編集委員という重職を委嘱され，その責任の大きを痛感いたしております。

編集の一端に携る事の出来る喜びと不安で一杯で御座居ますが，皆様に読まれ，親まれる地区ニュースである様努力いたしたいと思います。

堅苦しい内容より，身近かな軽い話題や御感想をいただけたら幸です。皆様の積極的な御投稿をお待ちして居ります。

地区ニュース編集委員　**L．人見三郎**（佐原LC）

地区内全メンバーへ配布されるニュースの編集委員を委嘱され，責任の重大さを痛感しております。今までの経験を基にして，皆さんに親しまれ，判り易い，また写真などを多く取り入れて肩の凝らない紙面を心掛けその責を果たしたいと思いますので，今後共よろしくご協力の程お願い申し上げます。

地区ＹＥ委員　**L．高橋惣司**（東庄LC）

出来るだけユニークで明るく希望に満ち，活力のある紙面づくりに努力したいと思います。

そのためには，アンテナを高くし，情報を多くキャッチし，取材活動を小マメに行いたいと思います。

ライオニズムが，いやがうえにも高揚するよう，クラブから送られた「積極的な活動」や「アイティムに溢れた奉仕」の姿勢などを紙面づくりの核としたいと考えています。

地区ＹＥ委員　**L．坂巻慎一**（柏グリーンLC）

１Ｒ担当ＹＥ委員の役を受けさせて頂きます。ベテランの諸先輩方々の指導，助言を得ながら，ある意味で失敗の許されない，ＹＥ奉仕活動の任を全うできたらと心に期しております。

どうぞ各クラブの積極的な御協力をお願い申しあげます。

地区ＹＥ委員　**L．石井秀雄**（船橋中央LC）

世界への玄関口，東京国際空港を有する我が地区が，ＹＥ活動に率先して行くのは自然な事でありましょう。

期待に胸ふくらませて来日した青年が，新しい友人達に感謝を込めてさよならを言う。又，頼り無げに飛び立って行った学生が，一段と逞しくなって元気に帰って来る。こんな姿を見れる様に一生懸命お手伝い致します。皆様の協力をお願いします。

地区ＹＥ委員　**L．門脇瑛太郎**（旭LC）

1980年　テーマ　以後社会福祉委員長、ＹＥ委員長歴任

「世界平和」全人類誰もが希望し，そうあらねばと努力を重ねている事も事実です。

世界の青少年が互いに外国に出てお互いを理解し，有情を育むことが出来るライオンズクラブのＹＥ制度は，いずれ平和への糸口にもなることでしょう。

この制度を微力ながらお手伝い出来ることを誇りにしたいと考えます。

地区委員

地区ＹＥ委員　**Ｌ．保科嘉彦**（君津ＬＣ）

1988年～1989年　地区ＹＥ委員
1989年～1990年　地区ＹＥ委員

喜怒哀楽

皆様方の御理解の元にＹＥ活動も定着しつつある事に喜びを感じます。

諸外国での治安の悪さ，又凶悪な事件が報ぜられる事に怒りと貧困さに哀しみさえ覚えます。

そんな心配さえ吹き飛ばす様なＹＥ生の元気な姿に接する都度，お手伝い出来る楽しさを与えて戴いた同志に只感謝。さあ三年目，頑張ります。

地区ＹＥ委員　**Ｌ．河野悟郎**（茂原長生ＬＣ）

1968年～1969年　会計
1974年～1975年　会長
1987年～1988年　ゾーン・チャーマン
1988年～　ＹＥ委員

リジョン内各クラブにＹＥ活動の意義の衆知に努め，活発なアクティビティとして，国際交流の一助に努力したい。

地区ＬＥＯ委員　**Ｌ．遠藤隆次郎**（君津ＬＣ）

幹事　第1·2·3副会長
1985年～1986年　会長

何にごとに対しても億劫がらず，人には愛情を，事にはファイトを持って当たれる人間を目指し，又今日の悔いは明日に残さず〝を。モットーに生きたいです。

地区ＬＳ委員　**Ｌ．伊藤　實**（流山ＬＣ）

1987年～1988年　クラブ会長
1988年～1989年　地区ＬＥＯ·ＬＳ会員
1989年～1990年　地区ＬＥＯ特別会員

ライオンズクラブは今や新しい時代を迎えております。永い歴史の中で培われた「ウィサーブ」の奉仕活動は，周囲の人々があっと驚くものから，地域に根ざしたものに取り組みが変化して来ていると思います。

この様な今，女性の力をお借りして男性には出来なかった新たな奉仕活動を試みてはいかがでしょうか。私は是非これを奨めて行きたい。

地区ＹＥ特別委員　**Ｌ．木下　務**（船橋ＬＣ）

1987年～1988年　2R1Z ZC
1988年～1989年　地区ＣＡＢ幹事
1989年～1990年　地区年次大会顧問

地獄のＹＥ，恐怖のサマーと云われるＹＥ委員に又々なってしまった。

７月８日モスクワ経由で北欧へ旅をした。北欧の玄関口ヘルシンキ(フインランド)からストックホルム(スエーデン)オスロ·ボス·ベンゲン(ノルウエー)そしてコペンハーゲン（デンマーク)と４カ国を廻り20日に帰国。各国共治安も良く親切だ。これからＹＥ派遣生もどんどん送りたいと思う。

地区ＹＥ委員　**Ｌ．田中昌輝**（館山中央ＬＣ）

1986年　地区ＹＥ委員
1989年　地区ＹＥ委員

ＹＥ委員として二年目になります。

ＹＥＰが世界中に広がろうとしているさなか，ＹＥ委員会の人使いの荒さには相当なものがありますが，先輩諸兄の熱心さに引きづられている昨今であります。新青木委員長の御指導で本年も一年頑張ります。

地区ＬＥＯ委員　**Ｌ．塚田裕也**（柏グリーンＬＣ）

柏グリーンＬＣ会長
333-Ｃ地区 1R3Z ZC

ライオンズクラブ国際協会が青少年の健全育成のために行っているものに，ＬＥＯクラブとＹＥがありますが，後者の派手な活動にくらべて前者は，余りにも地味な活動で日が当たりません。しかし自国の青少年の育成の基礎づくりをするＬＥＯの活動が充実してこそ，海外へのＹＥ活動も足元がしっかりして行くはずです。

地区ＬＳ委員　**Ｌ．高品和夫**（市原南ＬＣ）

1968年～1969年　幹事
1973年～1974年　会長

創立会員として入会以来，私のモットーは体で奉仕の一言に尽きます。今回はからずもＬＳ委員の席を汚す事になり，今更乍ら不勉強を恥じています。ライオンズクラブとライオネスクラブは正に車の両輪の如く互いに足らざるを補い，特にライオネスクラブ員の女性としての感性を生かし，きめ細かな優しさを体を通しての奉仕に発揮して頂きたいと思います。

地区国際協調特別委員　**Ｌ．山内克己**（成田ＬＣ）

1986年～1987年　地区ＹＥ委員
1987年～1988年　地区ＹＥ委員
1988年～1989年　地区ＹＥ委員
1989年～1990年　ゾーンチャマン・ＹＥ特別委員

東欧に新しく誕生したＬＣの現状を肌で感知し，何らかの力に成るべく８月25日から10日間ワルシャワ，ブダペストＬＣを訪問し，両ＬＣの皆様と話し会い，社会主義国家に芽生えたＬＣの灯に，僅かながらでも給油の役割を果たすべく，微力ながらも同行する皆様と，何らかの手掛かりを摑んで参りたく，全力を尽くしてみたいと思って居ります。

地区ＹＥ特別委員　**Ｌ．後藤隆一**（柏中央ＬＣ）

1989年～1990年　地区ＹＥ委員長

次代を担う青少年諸君が，視野を世界に拡め，国際人として育っていくことを願いつつ推し進められているＹＥ事業の重要性については，皆様ご承知の通りであります。

人間を扱う，それも全く異る文化を跨いでのことであり，難しい点も多くあるでしょうが，最善のお手伝いをさせて戴く所存ですので，宜しくお願い致します。

地区委員　年次大会関係

地区献腎特別委員　**L．高橋　弘**（船橋LC）

1978年　会長
1976年　地区副会計
1980年　ZC
1988年　地区委員長
1989年　地区委員

故元ガバナー吉原稔人Lが献眼をしたと千葉県アイバンク協会の報告にあったのを見て，さすがだなあーと感無量であった。

三献即ち献血献眼献腎のうち前二者は殆んどの目的を達成したと言っても過言ではないと思います。今年こそは残る「献腎」の目的を達成したいと念願しております。

地区会計監査委員　**L．高橋芳雄**（茂原LC）

1986年～1987年　クラブ会計

会則等の修得を

このたび，はからずも監査委員の指名を受け，重責さを痛感致しているところであります。

ライオン歴も浅く，またクラブ等の役員歴もない私がおこがましいと自覚しているが，多少会計知識があることが指名の理由かと思います。職務遂行のため会則等の修得に努めますのでよろしくお願いします。

地区年次大会事務局長　**L．小林利弘**（佐原LC）

本年は333-C地区になって，10周年という節目の年でもあり長島ガバナーの意向を良く汲んで，成果のある大会にしたいと思います。地区大会は佐原という地域性を充分生かした大会にしたいし，参加者全員に佐原に来てよかったという満足感をもってもらえれば幸いです。

地区年次大会顧問　**L．神宮寺俊弥**（銚子LC）

1974年　クラブ会長
1978年　ZC
1980年　DDG
1985年　年次大会委員長

4年前の銚子「みおつくし年次大会」の思い出が，今鮮明に脳裏に浮かんでまいります。体験を生かした指南役として，大会が成功裡に終了することを，祈るばかりです。

問題点として，運営・会場・人数・交通・記念事業等々，反省改善の余地が多々あります。ホストクラブの英知を結集してこの難関を乗り越え，祝杯を挙げましょう。

地区年次大会顧問　**L．木村洋一**（佐原LC）

1971年～1972年　会長

佐原ＬＣのチャーターメンバーとして在籍25年を経て，ここに地区ガバナーの誕生をみて，喜びに耐えません。キャビネット構成員の運営に就いては勿論来るべき年次大会に顧問として末席に列する事になりましたが一致協力して所期の目的を果し期待以上の成果を挙げるために微力を尽くしたいと念願し，ＬＣ各位の御協力をお願いいたします。

地区会計監査委員　**L．萩原　宏**（柏LC）

333-C地区の地区会計に指名されて1年，多忙な毎日ではありましたが，反面，普通ではとても味わうことの出来ない貴重な体験をさせて頂きました。

特に懸案であった地区特別運営費が議決されたことは望外の喜びです。

この経験を生かして今後も地区運営のために微力を尽したいと思います。会員各位のご協力を切にお願い申し上げます。

地区年次大会委員長　**L．小笠原和雄**（佐原LC）

1985年～1986年　地区会員・会則・ＥＸＴ副委員長
1988年～1989年　会長

次回の地区年次大会は，2,600年の歴史と文化，商業と地図の町佐原，水の郷日本水郷の景勝を背景にした北総の名門佐原市で開催されます。

私たち委員はもとより，ホストクラブ全員の協力と英知を結集して，より良い大会にと心に念じ努力する所存でございます。

多勢の皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。“来年は佐原でお会いしましょう”

地区年次大会顧問　**L．野口英雄**（柏LC）

幹事
会長
302-E　PR委員

年次大会は，そのキャビネットの評価を決める大きな要素のひとつであります。佐原キャビネットが，すでに此を決して，作業に取り組んでいる姿に，すさまじいばかりの迫力を感じます。柏キャビネットでは，いろいろお世話になりました。佐原の成功のためには何をなすべきか，前Ｇ寺嶋周三Ｌをはじめとして，十分心得ております。

地区年次大会顧問　**L．中村一雄**（佐原LC）

年次大会は，長島ガバナーの総決算であり，何としても立派な成果を挙げねばなりません。

会場等施設の問題もありますが，水郷佐原，文化と商業の街佐原の特性を生かした大会であれば，参加者に必ずや喜んで頂けると思います。

委員全員が一つの目的に向かって結束し充分なる能力を発揮して頂ければ，必ず名案がまとまる事と確信しています。

LC会長

1R1Z会長　L.鹿野信一（市川LC）

会長スローガン
思いやりの絆で飛翔３０

年間テーマ
○30周年記念行事の完遂
○緑と環境問題への取組み
○会員増強

1R1Z会長　L.根本　茂（下総中山LC）

私がライオンズクラブに入会して早くも10年になります。今の心境は使命感、責任感、不安感の交錯の最中で、身に余る光栄とは思い乍らその責任の重大さを痛感し、この大任を果たせるか否か不安で一杯であります。然し任命された以上は己のベストを尽くして精進努力したいと思います。今後皆様方のご指導、ご協力をいただき最後までガンバリます。

1R1Z会長　L.津田博敏（行徳LC）

恒例のアクトや、例会出席率、会員増強の懸案は、従来通り努力を怠らないで継続して参りますが、これに加えて地域住民の、クラブへの理解と協力に対し、感謝の表現をもっと考え直したいと思い、その表現によって地域住民の方々との交流が、更に親密化し、深まりよりアクトが有意義に拡大されるのではないかと考え努力する所存であります。

1R1Z会長　L.越智美吉（浦安シーサイドLC）

浦安ＬＣのエクステンションにより感動のＣＮを行ってから早くも５年目を迎えた。その周年行事の年、会長に就任することは誠に光栄であると共にその責任の重大さを痛感し身の引締まる思いがする。今日迄先輩会長が築いて来られた立派な実績を継承しこれを一層拡大すべく努力したい。ＣＡＢの役員の方々、先輩ＬＣの皆様のご指導ご鞭撻をお願いします。

1R2Z会長　L.染野淳三（流山LC）

「和が結ぶ奉仕のまこと"L"のもと」クラブ内は和をもって全てとし、メンバーの相互理解を深めて事に当り資質のある内容に進めたい。特にメンバー増強は入会者の資質を良く見定め増員したいと思います。地域社会の奉仕は社会性の高いものを選び継承発展させたい。メンバー各位の出席率のアップ楽しい例会に全力をつくし社会奉仕に精進いたします。

1R1Z会長　L.奥寺瑞政（市川東LC）

若さ・活力・行動力ある新会員増強に重点を置き、楽しい例会にして、先輩の築き上げてこられた伝統を守り、尚一層充実した奉仕活動が出来ればと考えております。

1R1Z会長　L.岡崎盛夫（浦安LC）

第19代会長の重責を賜り大変身の引締まる思いです。真心の奉仕を通じ地域社会に寄与出来るような年間アクティビティを各委員会で計画致しました。全メンバーの総力を結集して、楽しく実りある例会運営を行ってまいりたいと思います。一年間全力投球で頑張りますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

1R1Z会長　L.白鳥龍美（市川北LC）

市川市に下層社会はもうない。あってもにせだろう。全て中流意識階層である。豊かな社会が貧しいのは何故なのか。生活環境が悪い。社会資本が充実していない。ともいえるが、それより物の豊かさと心の豊かさのアンバランスからだといえる。
これからの社会奉仕は、自然環境を守り、心の豊かさを求めることにパラダイムの変換がされるであろう。

1R2Z会長　L.沖　英雄（松戸LC）

３月に次期会長に指名されました当時は、さほど感激もなく幹事、会計を引受けていただけるライオンのことで頭をいためている程度でしたが、やがて７月が近づくにつれて会長としての重責を果たすことの大きな不安が脳裏より離れず、唯々クラブメンバーの皆様のご指導とご協力を願い精一杯頑張り度いと思うのみである。

1R2Z会長　L.佐藤利之（松戸中央LC）

有能な諸先輩をさておいて会長に指名され感激をしております。この一年間はメンバー各位の御指導と御協力を得て精一杯頑張りたい、それには三役一丸となって、あらゆる問題に対処しライオンズクラブの精神を充分発揮したいと思います。

LC会長

1R2Z会長　L.岩佐敏雄（松戸東LC）

スローガン「心と和」
例会出席率の向上を目指す
友情と信頼を深めて、明日への
社会奉仕に　邁進する。
例会は　楽しく　なごやかに
を　合言葉とする
社会福祉と青少年健全育成を
推進する。

1R2Z会長　L.伊橋辰夫（松戸ユーカリLC）

ライオンズクラブ入会以来我々の進める「奉仕」とはどんな行為が理想的でありより原点に近いものであるかを考えてまいりました。「奉仕」の評価はつねに相手方の心にあるという事と結論づけ「心を打つ奉仕」をクラブのスローガンとして奉仕活動の分析、研究しつゝ奉仕される側に立った活動をすゝめてまいりたいと考えております。

1R3Z会長　L.神崎友見（柏LC）

クラブスローガンとして「愛と勇気で緑豊かな奉仕」と致しました。25代目として、目配りに気配りそして継続事業の推進と共に過去の歴史を見直しながら未来への発想の転換を試みたい。そして遊び心で楽しい例会でありたいと、メンバー相互の和と理解を深めライオニズムの高揚に務めます。

1R3Z会長　L.畔高敦司（柏中央LC）

15周年と言う節目の年度の会長の指名を受け、その責任の重大さを痛感いたしております。
『守ろう緑の環境心の奉仕』を会長スローガンとして、結成時より受け継がれた伝統を守り、ライオニズムの高揚と15周年記念事業の成功を願い、メンバー各位のご協力を得て心の奉仕と、楽しいクラブ運営に邁進いたして参ります。

1R3Z会長　L.海宝勝彦（印西LC）

我がクラブも、結成以来9年目を迎え継続事業も年々充実して、町の人達にもライオンズクラブが奉仕活動をする団体であると認識される様になりました。それにつれて会員相互にもライオンズマンの誇りをさらに持てる様になったと感じられます。長島ガバナーの『継続は力なり』のお言葉思わず心の中で大きく頷きました。

1R2Z会長　L.中村賢司（野田LC）

会長、スローガン。
ウィサーブ
　心豊かな青少年を育てよう。
主要活動方針、５項目課題を提案。
1.緑と環境保全に対する意識と社会的モラルの確立。
2.地域社会に密着した奉仕活動。
3.交通事故防止と薬害及び産業災害への安全教育。
4.格調高いクラブライフと例会出席の向上。
5.退会者の防止と会員増強を図る。

1R2Z会長　L.船橋繁雄（関宿LC）

今年は、クラブを町民に知っていただく為のＰＲを行い、事業を通し町民に認められるクラブにして行きたいと思います。又、メンバーの増強を第一目標に活動を進めて行きたい。

1R3Z会長　L.渋谷庄次（我孫子LC）

「人の為につくす」とは、メルビン・ジョーンズの崇高な精神です。私もこの言葉に添って一年間活動してまいります。従来の型をやぶった例会にトライし、会員一人一人の心のふれあいの場をつくり、会員相互の信頼を深める事によって、出席率の向上、退会防止につないで行きたいと思います。最後に会員増強にも前向の姿勢で望んで行く所存であります。

1R3Z会長　L.寺嶋　稔（柏グリーンLC）

昨年度結成10周年の節目を契機に「みなおそうふるさと柏緑の輪」をクラブスローガンとし、ライオンズ活動の原点である例会出席率100％を目標に、会員相互の信頼のもと楽しい例会作りに努めます。
新しいＡＣＴとしては薬害教育委員会を新設し、薬物乱用の恐ろしさについてのキャンペーン等も大々的に計画しております。

1R3Z会長　L.吉田良雄（柏オークLC）

この度７代目会長という重責を担いまして、不肖私ですが力一杯この一年がんばってまいります。「和をもって広げよう価値ある奉仕」をアクティビティスローガンに掲げ、会員一致団結し、ウィサーブの精神のもと尚一層の努力をここにお約束します。一年間何卒宜しくお願いします。

LC会長

1R3Z会長　L.小西宗仁（船橋LC）

30周年節序の中で
もの豊かな移ろいの中、今改めて人と自然との共生に真剣に取組まねばならぬ天の厳しい配し方や大きく変革する世界の実相の中で人間の価値感は多岐多様で戸惑う。わがクラブ30周年の節序の中で、今後百年後のメンバーの負託に応うる新しき奉仕への道づけに試練の荒海であることを敢えて希い、メンバーと共に実名美節に汗してゆきたい。

2R1Z会長　L.高森長男（鎌ケ谷LC）

和と友情で会員相互の親睦と理解を深め、連携をつよめて、高齢者の福祉、身障者の助成、青少年の情操教育、YE生の国際交流等の奉仕の輪を更に広げてゆき、又科学と自然の調和による環境の保全と生命の安全性を求めながら、地域の住民が一人でも多く幸福な生活が営めるような社会奉仕活動に参加してゆきたいと思っております。

2R1Z会長　L.川尻誠一（船橋ポートLC）

『初心にかえって、WE.SERVE』ライオンズクラブの原点であるWE.SERVEの精神に基づき一年生になったつもりで、クラブメンバーの融和、相互理解を深め、クラブの活性化、内部充実を図るため邁進したいと思っております。

2R2Z会長　L.金井一夫（八千代LC）

わがクラブは、昨年、20周年を迎えました。その際、ブラザークラブの皆様方には、大変お世話になりました。ここに厚く御礼を申し上げます。なお、わがクラブのスポンサーで、5月9日、八千代東LCを誕生させました。チャーター・ナイトは10月13日です。またまた、お世話になります。緑の中で、友情と奉仕の精神を深めたいと思います。

2R2Z会長　L.鈴木行正（船橋京葉LC）

私たちの合言葉「We serve」の通り、奉仕活動を積極的に組入れ運営して行く所存です。クラブの実態を把握して無理のない実情にあった活動が好ましいかと存じます。ライオンズ本来の姿を求め明るく、正しい運営が一層充実され円滑なるクラブとして前進できますよういろいろな意味で頑張ります。当面の課題は会員増強でございます。

2R1Z会長　L.中　良一（船橋中央LC）

愛の心でふれ合う奉仕を第一のスロースガンにガバナー方針を良く理解し会員増強出席率の向上活発な委員会活動等を通じ会員同志の心のかよう例会、小さくとも真心のこもったACTの推進を目ざして参ります。メンバー同志の連帯感を大事に互いの共通の目的を実現するため貴重な一年決意を新たに精進いたします。今後共一層の御指導、御鞭撻をお願いいたします。

2R1Z会長　L.浜田一男（沼南LC）

私が沼南ライオンズに入会して14年たちました。5年前幹事を受け今回会長という大役をお受けしました。今年の会長方針は楽しい例会で多くの奉仕をです。私のスポンサーをはじめ人格的にも社会的にも立派な方々が入会され、退会されていかれたことを何度も見てきました。今年は退会者のないよう楽しい例会を心がけてゆきたいと思います。

2R2Z会長　L.吉野高弘（習志野LC）

アクティビティは継続することにより一層その意義を増す。しかし一方では新規の事業を行う余地を減らすのも事実である。その辺の取捨選択はかなり難かしい。だがこの一年は継続アクティビティに重点を置くことにする。そしてそれを可能にする為に、従来にも増して楽しい例会が出来るよう努力したい。

2R2Z会長　L.谷内良弘（船橋東LC）

地球の環境問題が大きく論議される昨今、「緑の地球経営の実現にむけて」と題する中間報告が林野庁長官に提出された。333－C地区ACTスローガンと時機を一にしており、当クラブとしても最大級の協力をおしまない心算でいる。併せて献血、献眼活動の推進充実にも力点を置き、メンバーの意識の啓発を第一の出発点として、この一年間を努力したい。

2R2Z会長　L.中村　弘（船橋北LC）

会長スローガンは豊かなふれあいとしました。このスローガンに基づいて運営をしたいと考えております。人とそして自然とのふれあい、特に会員の奥様方にも参加していただき夫婦共々ライオンズクラブを理解していただき質的向上をはかりたいと考えております。又歴代会長さん方の今までの方針を踏えながらこの一年を進めていきたいと思っております。

LC会長

2R2Z会長　L.飯田偉佐雄（習志野中央LC）

今年度会長という大役を受け、その重責に身が引き締まる思いです。経験の浅いクラブなので、他クラブとの交流を深め、楽しいクラブにして、出席率を高め、会員全員が一体となり、規律を第一とし、会全体の活性化、クラブの発展を、任期一年間精一杯努力したいと思います。

2R2Z会長　L.安原　博（八千代東LC）

今度、八千代市に新しく誕生した八千代東ライオンズクラブです。メンバーのみなさんと一緒にライオニズムを勉強、研鑽し、先輩クラブのみなさんの指導のもと一日も早く充実したクラブを目指し、地域社会に貢献してまいりますのでよろしくご指導とご鞭撻の程お願い致します。

3R1Z会長　L.林　智樹（成田LC）

会長指名を受け、重責を痛感し、身の引締まる思いで一杯です。

本年9月には、CN25周年を迎えます。この数年スポンサークラブとして3クラブも誕生し、親クラブとして、国際都市成田を背景に、地域社会奉仕はもとより国際的奉仕の輪を広げる様努力する所存です。又周年行事を期に新しい会員を多く迎えたいと思います。

3R1Z会長　L.別所初男（佐倉LC）

チャーターメンバーでは、最後の私が25代会長を務める事となり、チャーターナイトの感激を思い出して、初心にかえり、25周年記念の基礎づくり、会員増強、よりメンバー同志の親睦を図る事を、モットーに頑張って行きたいと思います。

3R1Z会長　L.江口義明（四街道LC）

この度24代会長に就任することになりました。

先輩ライオンの築かれた良い伝統を引き継ぎ、会員の相互理解と和を大切にしながら、クラブ運営に当たりたいと思います。

“クラブ員全員の参加意識を高め、より活動的なクラブへ”を目標に、努力して参ります。

3R1Z会長　L.相京　彬（酒々井LC）

結成4年目、今一度クラブの強化充実を図り、集うことの大切さとライオンとしての自覚と誇りをもった奉仕活動に努め「尚一層の前進」をモットーとして行きたい。

3R1Z会長　L.吉田　茂（成田グリーンLC）

当クラブは、チャーターナイトより2年目を迎える新しいクラブです。本年度は、基礎作りの年と位置づけをし、会員と共に、微力ながら努力精進してゆく所存です。その為に、会員同士の友情、親睦、を深めるべく、楽しく活発に意見を言い合える例会の雰囲気づくりに努めます。そして相互理解に基づき、全員参加の奉仕活動を、展開してゆく所存です。

3R1Z会長　L.岩澤治衛（成田平成LC）

皆様のご推薦により会長という重責をお受けする事になりました。

非才な私ですが初代会長、メンバーの皆様のご指導ご協力により一生懸命努力致します。色々ご批判ご意見もあろうかと思いますがよろしくお願い致します。ライオンズクラブの重要性を認識してメンバーの皆様が進んで活動に参加して下さる事を御願いしまして、ご挨拶と致します。

3R1Z会長　L.須藤健蔵（八街LC）

八街LCは、スポンサーLC成田平成の指導により、3月29日、八街町に初めて誕生しました。初代会長として、その重責を果たすべく努力中です。会員相互のふれあいを大切に地域社会に密着したライオンズとして、魅力ある発展、運営を図って参りたいと思います。スポンサーLC、先輩LC、の御援助、御指導をお願い致しあいさつと致します。

3R1Z会長　L.井野文樹（八街グリーン）

「社会奉仕」というLCの伝統の教えの中で、私達クラブ会員全員の一枚岩の汗と英知により、地域振興に寄与したいと思います。

成田グリーンLCのスポンサーにより7月27日に結成式を終了でき、11月25日のCNにむけて、創設の基盤づくりと、変わらぬ会員相互の友情づくりに微力を尽くします。

どうぞよろしくお願い申しあげます。

LC会長

3R2Z会長　L.山手英夫（千葉LC）

当クラブの継続ＡＣＴである身障者ビームライフル大会、奨学生に対する学費援助は例年通り行います。
そして楽しい例会を目標にメンバースピーチ、家族を交え、親睦を深める為の納涼例会、クリスマス例会はすでに準備中です。メンバー同志の交りわを深め、和を保つ事が私の念願です。

3R2Z会長　L.中村可夫（千葉若潮LC）

15周年を迎え、20周年に向かってクラブ強化を計る。「我々は奉仕する」再認識し、会員が何をすべきか、原点にかえり出発すべき努力、会員相互の親睦をはかり各委員会の活性化をはかるとともに運営事業を強化するための人材確保を行う。

3R3Z会長　L.高橋　準（市原LC）

われわれは、知性を高め友愛と寛容の精神を養い、平和と自由を守り社会奉仕に精進する。というライオンズの誓を新たに認識しライオンズ八十年の歴史と伝統を守り誇りをもって今年度会長の職務に精励する所存でございます。我がクラブについてはまず原点に立ちかえり会員ひとりひとりのライオンズ精神の意識の高揚をはかりクラブの活性化発展につなげる。

3R3Z会長　L.森　安彦（市原南LC）

市原南ライオンズクラブの会長に選任されました、Ｌ森です。三役研修会を終えて、何か新しい責務が頭の中をよぎっている昨今ですが、ガバナースローガンの「広げよう愛の奉仕と緑の輪」を頭に頑張る覚悟です。特に今年度は本クラブの25周年にあたりますので、特段のお力添えをお願いして、新任の挨拶に変えさせていただきます。

4R1Z会長　L.寺井喜一（銚子LC）

４Ｒで、一番古いクラブの会長を私のような非才の者が就任し大役と責任の重大さを感じます。
楽しい和のあるクラブの運営に努め本年度の出席率の向上と会員相互の親睦を図り一年間努力する所存です。

3R2Z会長　L.久保田　宏（千葉中央LC）

前年、25周年行事を終えました。ホッとした気持ちを引き締め、初心にかえってやってゆこうという心構えです。欠席をしないよう呼びかけるより、例会を楽しく、ためになる例会にし、次の例会が待ちどおしくなるようにしたいと計画しています。
そのような例会で相談すれば、よいＡＣＴの案も浮かぶことを確信します。

3R2Z会長　L.大田禊之（千葉ポートLC）

たかが千葉ポートライオンズクラブ、この一年はたまたま会長、そんな気楽な気持で行きたいと思います。
されど千葉ポートライオンズクラブにすべく、全員がグッドスタンディングで、出席して楽しいクラブを目指し、本年は委員会中心に、行政で行っていない隙間的な、谷間のアクティビティを摸索しながら行動出来ればと考えています。

3R3Z会長　L.日暮政雄（千葉エコーLC）

“健康で、ウィ・サーブ”
25年を迎え、ライオンズ国際協会の目的を再確認しよう。エコー結成25年の歳月は、やゝもすると会員をマンネリ化させ、活力と魅力あるクラブ運営が失われつゝあるとき、もう一度初心にかえって個々の役割をそれぞれ再確認し、クラブの活性化に向けて努力したい。それには、会員が健康であること。くれぐれも健康に留意しましょう。

3R3Z会長　L.歌川深一（千葉京葉LC）

本年のＡＣＴスローガン「広げよう愛の奉仕と緑の輪」を基に微力なる私が会長という大役を引受け今さら乍ら身の引締る思いでございますが、今年の方針と致しましては、無理のないクラブ運営、楽しい例会、新会員の増強並に育成と維持、委員会の個性をもった積極的な活動、等々すべて明るく会員相互の和を保ち、一年努力して行く所存であります。

4R1Z会長　L.池田忠宏（佐原LC）

結成25周年記念式典を本年５月に終えた歴史あるクラブの、そしてガバナーのホストクラブの会長の任に当る事となり、その責任の重大さに身も引き締まる思いが致します。
担当年度につきましては、ボランティア精神を基盤として、能動的な行動を伴うアクティビティに重点を置き、市民に衆知いただける方策にて実行致したく思っております。

LC会長

4R1Z会長　L.石井　清（東庄LC）

本年度のガバナーアクティビースローガン「広げよう愛の奉仕と緑の輪」の実現に努力いたします。
更に国際的視野に立ち事業を進め、親睦を図り友情と信頼を深めます。又地域社会に密着した奉仕活動を推進し、昨年に引き続き会員の増強を進めます。本年一年間どうぞよろしく御協力御指導をお願い申し上げます。

4R1Z会長　L.吉田喜和蔵（大栄LC）

私の努力目標
- 年度事業計画を目標通り達成する特に会員の増員に努力する。
- 出席率の向上に努める。

以上が私の努力目標です。

4R1Z会長　L.郷　栄弥（銚子中央LC）

私は銚子LCより転籍し本年4月10日、名誉ある初代会長として結成式を行いました。未だ三ケ月も経過しないので会長続投となりました。
銚子LC時代の経験を基に踏襲すべきは踏襲し、正すべきは正して運営に当る覚悟ですが、特に高遠な理想を説く前に、ライオンズ活動の原点は例会出席に在りとの信念の下に如何に例会を魅力あらしめるかに努力したいと思います。

4R2Z会長　L.伊東　諒（旭LC）

輝かしい実績を重ねて来た歴代の後を継ぎ、結成25周年度を受け持つ事になり緊張の毎日だが、今年度は佐原キャビネットのホストクラブにも選ばれ、とにかく頑張りの一年間で行こうと自分の心に言い聞かせている。三役として苦楽を共にする飯島甫幹事と磯村勇会計との三人の息が最初から合い、幸先良いスタートとなった事に感謝している。

4R2Z会長　L.加瀬　実（飯岡LC）

メンバー間の親睦を深め、楽しい例会づくりをし、各委員会計画による活動の活発化を計り、会員の皆さんと徒に、頑張りたいと思います。

4R1Z会長　L.礒邉　徹（神崎LC）

CN20周年の意義深いこの年度に、会長の指名を受け、改めて責任の重さを痛感しております。
10月28日に開催される周年記念行事の成功をめざし、45名の会員による「充実した奉仕活動」が実践できるよう努力したいと思います。
この活動を通してACTスローガン「広げよう愛の奉仕と緑の輪」が定着することを期待しています。

4R1Z会長　L.佐伯源勝（栗源LC）

C地区10周年栗源5周年に私再び会長を命ぜられ責任重大且つ、感無量であります。私はいつもつつしみと思いやりの心を持って天から与えられた生命に感謝し、世の為人の為に尽くさねばならない信念で、広くこの心を伝え、会員の増強発展を念じつつ、LCを恋人にして生涯お付合をしたいと思っています。
我再長成奉仕邉五年迎得感懐新尊獅子会生涯恋世界朋期鼓腹人　太山

4R2Z会長　L.勝山浩明（八日市場LC）

本年度は、創立25周年を迎え、会長の重責を痛感しております。「新たな決意で実のある奉仕」を会長方針に掲げ、メンバーの積極参加で魅力あるクラブ作りをし、委員会活動を活発にし、平均年令48才の若さを生かして、地域社会に密着したアクトを実行したいと思います。そして常に新しい発想で、クラブの活性化に努力をしたいと思います。

4R2Z会長　L.五木田正巳（総武中央LC）

三役研修会に参加しまして会長という重責が日々に増す感がしてまいりました。これから一年間クラブの顔として運営に携わって行くわけですが、会長としての自覚を持って自分なりにこの職務に邁進してまいりたいと思って居ります。抱負としましては現況を維持すると共に地域に密着した、より内容に深みのあるアクトをする様に心掛けるつもりです。

4R2Z会長　L.鈴木公一（多古LC）

長島ガバナーのもとホストクラブとしてキャビネットの運営に協力し、多古クラブの実績の上に「ふれあいと簡明な組織づくり」をめざし、楽しい例会を計りたい。近隣ブラザークラブとの交流も楽しいと思う。多忙な皆様故に活動への参加は大変な事だが役割分担してライオンニズムの原点「We Serve」を心がけたい。

LC会長

4R2Z会長　L.関本良正（干潟LC）

ガバナー方針「広げよう愛の奉仕と緑の輪」を体して、メンバー相互の心豊かな友情により、クラブの活性化を図り、未来を背負う青少年の健全育成・老人福祉のアクティビティに務め、良く言うて、良く行ない、一隅を照らして行きたいと思います。

各位のご指導とご鞭撻の程をお願い申し上げます。

4R2Z会長　L.椎名重基（光LC）

・クラブ内の和をモットーとし楽しい例会運営をして行きたい。
・アクト資金の資金獲得事業を実施
・新入会員の増強

5年目を一つの節目と考え、原点に立ち還りクラブ運営を考えていきたいと思っております。

5R1Z会長　L.横峯秀夫（木更津中央LC）

会長に指名され身の引き締まる思いで一杯です。本年度クラブ運営に当り強く提唱したいことは、和と協力ということです。全員の和と協力関係があって初めて実践が可能であると思います。そのためには、お互いが心を開いて常に話し合い、相互理解を図って行くように、心掛けたいと考えています。

5R1Z会長　L.今村　彦郎（木更津金鈴LC）

身近な奉仕・大きな友愛

40人弱のクラブでＡＣＴを計画しても大きなＡＣＴは無理。ゾーン、リジョン或いは地区で合同ＡＣＴの実施もないとすれば身近な、子供会か福祉施設へのＡＣＴか、植樹など又、クラブ運営には会員の大きな友愛友情の絆が必要。40人が結集できれば40倍否80倍の力が期待できる。

5R2Z会長　L.太田　隆（上総LC）

３３３－Ｃ地区ライオンズ憲章に、単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。とあるように、会員一人一人の意志を尊重し、その力を組織の流れに変えて活動していきたいと念願しています。

どんな小さな奉仕でもいい、会員全員が問題意識をもって今日的課題を解決していきたいと考えています。

〈小さな奉仕が地域を守る。〉

4R2Z会長　L.高木　浩（山田町LC）

会員の英知を結集し、委員会活動計画によるクラブ運営の活性化を計り、出席率の向上、会員の増強、楽しい例会づくりを目指して努力したい。

ガバナー方針をうけて、会員の総力をもって真心奉仕を実践し、緑化推進、青少年健全育成、献血運動の協力を推進して微力ながら誠心誠意努力いたしたい。

5R1Z会長　L.山崎幸哉（木更津LC）

木更津ＬＣは、前年度満25周年を迎える事が出来ました。これも先輩Ｌ初め各Ｌの、精進の賜物と深く感謝して居ります。因に今年度小職如き浅額非才な若輩者が、会長を仰せつかりました事は身に過ぎる重責と痛感して居ります。常に初心を忘れず「人の和は地の利に如かず」をスローガンに努力する所存ですので、偏に宜敷御願い申し上げます。

5R1Z会長　L.石井俊夫（袖ケ浦LC）

奉仕活動、他人との交流又自己の人間形成の為にと、Ｓ48年に入会して現在まできましたが、当時と比較して社会も、あらゆる面で大きく変化して来ました。しかし、クラブはそれと同じ歩調で進んで来たとは思われません。そこで、原点に還って、全員がＬ精神の理解のもとに、楽しく参加出来、時代に対応したクラブ運営を目標に進んで行きたいと思います。

5R2Z会長　L.福原敏夫（富津LC）

ライオンズとは一般的に奉仕団体として理解されている。しかし、現実的にクラブ行事を行っていく上では必ずしもメンバーの総力を結集できないのが現状ではないだろうか。なぜかを今一度考えてみたい。したがって本年度は各メンバーの協力と理解を更に深め和のある、明るく楽しいクラブ運営を図りたいと思う。

5R2Z会長　L.斉藤満生（君津LC）

「手をつなぎ　愛とみどりの
奉仕の和」

のＡＣＴスローガンで重点目標は
1.薬害対策　2.緑を中心とした環境保全　3.例会出席率向上

特に、恐ろしさを知ることが薬物乱用防止の第一歩です。

自分だけは大丈夫、いつでもやめられる。そんな甘い考えこそが危険です。

LC会長

5R2Z会長　L.金見芳夫（君津中央LC）

特に抱負はありません。

6R1Z会長　L.松川省吾（鋸南LC）

来年25周年の鋸南LC、奉仕の精神で和を持ってクラブ活動に励んでおります。本年度、例会には仲良組で互にさそい合い出席、期待を持って入会してきた新入会員が期待はずれにならない様、努力していきたい。

事業として、講演会やそれぞれの趣味を生かしての大会、又家族が共に語り合える家族会等できるだけ和の輪を広げる様運営に当りたい。

6R1Z会長　L.茂呂喜好（館山北LC）

〔和を深め会員誘致と出席率の向上を図り、退会防止に奉仕する〕

1.会員相互が親切に快く接し良き友々良き同志として融和を深め新会員の誘致を図り歴代会長の目標である30名体制を必ず実現できるよう総力をあげて努力する。
2.厳粛なうちにも明るく楽しい例会づくりに努め出席の向上と退会者ゼロを図りクラブの発展につなげます。

6R2Z会長　L.梶谷達雄（鴨川LC）

今年度は結成25周年を迎えます。「基本に帰ろう和をもって」25年にもなれば、ライオンズクラブの基本精神を改めて深く見直す必要があります。しかも会員全体の友愛と仲間意識を高め、一枚岩の和を築き上げ、その上に立って社会奉仕活動をしてこそ真の奉仕が出来ると思います。各委員会活動を最優先し、我がクラブの発展に努力いたします。

6R2Z会長　L.押元文三（房州朝夷LC）

地区内最少のクラブで組織構成も困難性を伴う現況である。

メンバーの質を高め、楽しく、身になる体質造りに専念、会員増強の基盤の造成に最大の努力をする。

6R1Z会長　L.池田　清（館山LC）

当クラブとしては、本年度「心豊かに奉仕と親睦」をクラブスローガンといたしまして会員相互の親睦、例会は、委員会を中心とした運営にし、会員の協調を強め、クラブ活動の広報化をはかり、地域社会の人々と連携を深めながら、その地域に密着した奉仕活動を推進していく所存であります。

6R1Z会長　L.酒井真澄（館山中央LC）

当クラブのスローガンであります「健やかに育てよう明日の子らを」をモットーに、特に青少年育成事業を中心とした、青少年剣道大会の実施と、YE活動の充実に、会員一丸となって努力して参ります。

又、梅園の養生事業と、ヤシの木植樹の計画等々、継続事業の充実に、地域住民と共に、住みよい町づくりに貢献したいと思います。

6R1Z会長　L.鈴木己之助（館山南LC）

本年度会長に就任し、来年度は20周年の式典を予定している事に一層責任の重さを感じております。ガバナー方針に従いウィサーブの精神を十二分に発揮し会員の増強、青少年育成活動に助成し地域に密着した奉仕活動に心掛けたいと思います。そして来年度の20周年の式典が立派に出来る様会員一同頑張り度いと思います。

6R2Z会長　L.早川古一（房州白浜LC）

次期、結成25周年を迎える準備年度であり、長島ガバナーの方針を基本としながら歴代会長よりの継続ACTを柱とし、地域にマッチした奉仕活動を推進する。今年度の目標、

1.会員相互の健康と融和により、会員増強と退会防止。
2.青少年健全育成。
3.環境美化と愛の献血。

6R2Z会長　L.高梨一造（房総勝浦LC）

ガバナースローガンを合言葉に、楽しい例会を続けていくことができる様健康に注意して、地域の繁栄に協力し、奉仕の輪が、二重にも三重にも広がる努力をしてみます。

LC会長

7R1Z会長　L.阿井　潔（茂原LC）

伝統ある茂原ライオンズクラブ第28期会長に指名されました。全力投球で頑張り度いと思って居ります。どうぞ宜敷く御願い申し上げます。
1.出席率の向上（例会80%以上）
2.例会の活性化（例会を楽しく有意義に）
3.会員の増強（3、4名）
4.奉仕活動（継続事業）
5.姉妹クラブとの交流
6.委員会の活動を活発に

7R1Z会長　L.古宮　優（茂原長生LC）

誇りをもてる、クラブ。
古き良き事を重視し､新しき時代に、合った、クラブ運営。
メンバー一人、一人が職責の把握と、職務の遂行。

7R1Z会長　L.金坂　清（長南LC）

時代の変遷と共に社会情勢が、めまぐるしく変動している。21世紀を目前にし、国際化がさけばれている昨今、ライオンズ精神に則り地域の実態をふまえて、会員相互の連携を密にし、知性を磨き友愛と寛容の心情を基盤として、強い団結により、アクティビティを推進したい。
私のスローガン
「高めよう、友愛と奉仕の和」

7R1Z会長　L.増田三雄（東金LC）

当クラブは今年がCN25周年に当る。此の意義ある時に会長をお引受けし、光栄に思うと共にその重責に身の引締まる思いである。もとより浅学非才の身ではあるが、先輩各Lの御指導を得ながらこの節目を大きな物に作って見たい。と同時に新しく伸びる今後の為に、若い会員の増強、楽しい例会、を特に心がけ、クラブの活性化に努めたい。

7R2Z会長　L.斎藤定行（九十九里LC）

今年度活動方針として我々は知性と寛容の精神を持って此の1年を第2Zは素より各クラブとの友好の絆を計り乍ら例会訪問等をクラブ会員に体験させ巾広くライオンズクラブの真髄を知って戴く事に努めて行きます。又クラブ活動の一端で有りますゴルフ大会に協力しゴルフ以外の部を作り意志の疎通を計り乍ら発展に寄与する所存で御座居ます。

7R1Z会長　L.細谷　実（上総一宮LC）

この度、当クラブの会長就任に当たり、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。
特に本年度はチャーターナイト25周年に当たるからです。私達会員はこの節目を契機に初心忘れず、クラブ員一同は、ライオンと呼ばれるに恥じない知性と教養を身につけ、一系乱れぬ体制をもって社会奉仕に精進する覚悟です。

7R1Z会長　L.長谷川善久（白子LC）

ガバナー方針スローガン「広げよう愛の奉仕と緑の輪」に沿って、本クラブとしては、
1.桜の苗木の植樹
2.青少年育成の充実
3.会員相互の交流と親睦を深める
4.会員増強（3名）
以上四つの柱を基本に継続事業への積極的参加により各ACTの完遂を図る。

7R1Z会長　L.友次卓治（長柄LC）

会員の皆様に
1.例会出席を励行していただきます。
2.奉仕活動につとめていただきます。
3.友愛、人の和を大切にしていただきます。

7R2Z会長　L.清水金二（大網白里LC）

当クラブ13代目の名誉ある会長の大役を分不相応の小生が指名を受ける事に相成り、12名の先輩会長はじめ、メンバー各位の協力と御指導賜り一年間頑張って参ります。当クラブの持味を充分生かし、ライオンズクラブの目的に向って活動し、特に委員会活動の今迄以上の活発化と新入会員4名以上の増に努め、一年間の任期を全うする所存でございます。

7R2Z会長　L.篠崎　修（成東LC）

クラブ内の融和と協調の中で10周年を迎える今年度は、より発展的なアクティビティの推進とPRに尽力し、地域社会と一体となり、メンバーがリーダーシップの取れるクラブづくりに努めていきたいと希望している。

ライオネス会長の抱負

―ともに、『広げよう 愛の奉仕と緑の輪』―

LSC会長

1R2Z会長　LS.山梨美代子（流山LSC）

楽しい事の大好きな私は、スローガンを、「みんなで、楽しく、爽かに」とし、会員相互の交流を大事に、333－C地区キャビネットが独立して、10年を迎える年に、私達の活動も、思い出に残る意義深い、1年間でありたいと願っております。

2R1Z会長　LS.行川波子（船橋中央LSC）

船橋中央ライオネスクラブも親クラブの暖かい御支援のもとに13年目を迎えました。はからずも今期の会長を指名され戸惑いつゝもその責任の重大さを感じております。浅学非才の私には何も出来ませんが、人数は少ないのですがすばらしい会員の皆様の御協力を仰ぎ、親睦をはかり愛の奉仕をモットーに歴代会長の築きました土台を崩さぬよう努力して参りたいと思います。どうぞよろしく御指導の程お願い申し上げます。

3R3Z会長　LS.御園生僖久江（千葉京葉LSC）

12年の歴史を大切にしながら、初心を忘れずに、女性の特色を生かした真の奉仕活動を追求して参りたいと思っております。

また、皆様のご協力を得て毎年実施しておりますチャリティーパーティーも10回目を迎えますので、より充実した内容のものを計画したいと存じております。

5R1Z会長　LS.加藤和子（木更津金鈴LSC）

このたび木更津金鈴ライオネスクラブの会長の役を頂きました。

ライオネスクラブに入会して、日がまだ浅く、右も左もわからない私ですが、ネスの皆様の御協力を頂き、アクトスローガン“広げよう 愛の奉仕と緑の輪”に向けて、この一年間、努力していきたいと思います。

1R3Z会長　LS.浅野信子（柏LSC）

柏LSクラブは、柏Lクラブのスポンサーにより誕生いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。微力な私達ですが、27名共通の目的を持って、楽しく奉仕活動をして行きたいと思います。「広げよう 緑の大地 奉仕の輪」というテーマを掲げ女性の特性を生かし、自然環境の破壊を少しでも防止する運動の輪を広げて行きたいと思います。

3R3Z会長　LS.長島節子（市原南LSC）

私共の市原南LSCも3年目を迎えます。この2年間の貴重な経験から得た伝統を、余り肩に力を入れずそして、一歩一歩前進して、守り通して行きたいと考えます。

333－C地区ライオンズ憲章の第3にあります、「友情によって相互理解と強固な団結をはかろう」の言葉を特にクラブ運営の基本と致しまして今年度のACTスローガンを中心に実践して参りたいと思います。

5R1Z会長　LS.三上石子（袖ケ浦LSC）

結成11年目を迎えた今年度又親クラブと共に歩んできました奉仕活動もクラブ内に定着し新たな気持ちで会長を引き受けました。10年間の継続ACT例えば独居老人への給食サービス、チャリティーダンスパーティー等も地域に密着し理解を得ています。これからも会員を強化し、クラブ員の協力を得ながらクラブ運営に努力していきたいと思います。

5R2Z会長　LS.安室智恵子（富津LSC）

四季の移り変わりの美しさを心に止める暇もなく仕事に追われ無為に年を重ねて了った私…この度ライオネスクラブの会長に推され其の責任の重さに、とても其の器ではないと存じますが、これからは、ライオンズ精神に則り会員の皆様との和を大切に知識を広め皆様のお力を借りて、女性らしいきめ細かな奉仕活動をして、何とか其の任を全うしたいと存じております。

LSC会長

5R2Z会長　LS.佐々幼子（君津LSC）

君津ライオネスクラブ会長の任命をうけました佐々です。ライオンズの誓いの中に知性を高め、友愛と寛容の精神を養い社会に奉仕に精進するとあります。会長として、もう一度この精神をかみしめ、みにくい人間のエゴを少しでも改めて、メンバー、一人一人の心のふれあいを大切にして、明るくさわやかに地域に奉仕をして行きたいと決意します。

6R1Z会長　LS.中西京子（館山LSC）

水と緑と空気のきれいな街にある私達クラブも創立以来12年目を迎えることになり、メンバーも19名と少ないながら例会出席率もよく、これからも毎例会時間を楽しく有意義に使いたいと思っています。ＡＣＴについては「広げよう　愛の奉仕と緑の輪」のスローガンのもと地域住民に少しでも役立てる奉仕活動の展開をしてゆきたいと思います。

5R2Z会長　LS.栗原敏子（君津中央LSC）

ネスクラブ結成８年目、歴代会長によって、しっかり作られた、枠の中で、広く、大きな、心の和をもって、まず身近な、親クラブのお手伝い、そして充実した奉仕活動が、出来るよう、努力して、参りたいと思っております。

6R2Z会長　LS.相澤百合子（鴨川LSC）

ライオネスクラブについて充分な知識もないまま本年度のネスクラブ会長を引きうけることになりました。

その大任にいささかとまどっておりますが、お引きうけする以上その職責を果たすべく、寛容と友愛の精神を基調として、和やかな中に活気のあるクラブを目指し努力したいと考えております。

皆様のお力添えをお願いします。

LEOクラブ会長の抱負

LEO会長

1R3Z会長　LEO.斉藤未花（柏グリーンLEOクラブ）

柏グリーンレオクラブは、今年の１月21日に、柏グリーンライオンズクラブがスポンサークラブとなって結成されたばかりの１Ｒ３Ｚではじめて出来たレオクラブです。柏グリーンライオンズクラブのご指導と先輩レオクラブの励ましによって、多くの心を学びとって行きたいと思います。高校２年生から小学校３年生までの24名の会員でがんばります。

5R2Z会長　LEO.猪瀬智子（君津LEOクラブ）

今期正木君を引き継いで会長を任される事になりました。今後も更に月々の例会を通して地域社会のために役立つ活動を行っていきたいと思います。まずは会員同志の交流を深め自主的、協力的に活動を進める事を目標にしています。

私も今年の４月からは社会人となり、なかなか例会にも参加できにくい状態ですがどうぞよろしくお願い致します。

5R2Z会長　LEO.原　英明（富津LEOクラブ）

昨年に続き、本年度もレオクラブ会長となり「初心忘るべからず」を心がけ、ひとつ、ひとつの奉仕活動、それも身近な、あき缶拾いや、共同募金などの行動する奉仕活動をモットーに、クラブ活動を更に活性化出来るよう他のクラブとの交流の輪を広げて行きたいと思います。

一年間、よろしくお願いします。

6R1Z会長　LEO.川上雅之（館山LEOクラブ）

館山レオクラブも結成五年目を迎えました。私もレオ五年生となりメンバーの先頭に立って後輩を引張ってゆくつもりです。今年七月館山クラブの推薦によりＹＥ学生としてアメリカへ行くことになりました。一月の期間ですが私がＹＥ学生としてアメリカへ派遣されることによって今後レオのメンバーが続々外国へＹＥ学生として派遣される様努力して来たいと思います。

1990～1991年度　第１回キャビネット会議議事録

1990．8．4（土）於：佐原市・開花亭

ガバナー提出議案

第１号議案

地区会計監査委員委嘱の件

複合地区会則第25条第４項により、下記Ｌに監査委員を委嘱したい。

Ｌ．萩　原　　宏（柏）
Ｌ．高　橋　芳　雄（茂原）

◎承認・可決

第２号議案

キャビネット会計の業務執行に伴う担保提出を免除する件。

◎承認・可決

第３号議案

青少年健全育成の重要性に鑑み、青少年育成資金については、前年度に引続き、地区内全メンバー１人当たり、1,500円を拠出し、その運営を計りたい。

◎承認・可決

第４号議案

ＬＣＩＦの強化運動について

国際協会プログラムを尊重し、ＬＣＩＦ強化のため、メンバー１人当たり＄10以上の献金を願いたい。

また、各クラブより、１人以上のメルビン・ジョーンズ・フェロー（＄1,000献金)受賞にご協力願いたい。

◎承認・可決

第５号議案

世界ライオンズ奉仕デーについて

10月８日の世界ライオンズ奉仕デーにさいして、地区内全クラブは、メンバー全員の参加による奉仕を行い、この日の意義を一層高められたい。

第６号議案

旅費規定、慶弔見舞金規定を、別紙資料の通り定めたい。

◎承認・可決

（第１回キャビネット資料Ｐ46参照）

第７号議案

本年度アワード規定について、別紙資料の通り定めたい。

◎承認・可決

（第１回キャビネット資料Ｐ47参照）

第８号議案

333－Ｃ地区第37回年次大会開催について、下記の通り実施したい。

日時　1991年５月12日（日）
場所　佐原市

◎承認・可決

第９号議案

緊急災害援助資金の運用委員の指名について

◎承認・可決

（第１回キャビネット資料Ｐ49参照）

第10号議案

ルテナント・ガバナー特別委員の指名について

◎承認・可決

（第１回キャビネット資料Ｐ49参照）

第11号議案

財政特別委員の指名について

◎承認・可決

（第１回キャビネット資料Ｐ49参照）

第12号議案

一般会計予算書　1990.7～1991.6

◎承認・可決

第13号議案

青少年育成資金会計　1990.7～1991.6

◎承認・可決

付属会議提出議案

第14号議案

財団法人千葉県腎バンク（仮称）への設立協力について

◎承認・可決

３３３複合地区第１回ガバナー協議会

議　事　録

1990年８月12日(日)、上野精養軒で開催された、333複合地区第１回ガバナー協議会の菅沢亨議長提出議案は、満場一致で議決されました。

①１９９０～９１年度から３３３複合地区の委員会の構成に「環境保全委員会」を追加したい。（注。委員長には、寺嶋周三前３３３－Ｃ地区ガバナーが就任）。

②薬害・糖尿病委員会を「薬物乱用防止・糖尿病委員会」に改称したい。

③１９９０～９１年度各委員会の委員を別紙の通り委嘱したい。（注。１８委員会）。

④フィリピン地震災害の見舞金として、緊急援助資金から５０万円を支出したい。
なお資金補塡のため、メンバー１人あたり５０円を徴収することとしたい。

⑤１９９０～９１年度３３３複合地区一般会計を別紙の通り定めたい。
（注。収入23,624,078円。支出21,525,430円）。

⑥１９９０～９１年度３３３複合地区旅費規定を別紙の通り定めたい。

⑦１９９０～９１年度３３３複合地区のＹＥ関係に関する事務一切をＹＥ委員長に一任し、その事務局はＣ地区キャビネットに置くことにしたい。

⑧バンカー国際第一副会長公式訪問についての事務一切はガバナー協議会事務局内に特別委員会を設けて行うこととしたい。

⑨１９９０～９１年度定例ガバナー協議会を下記の通り開催したい。

第１回　1990年８月12日（日）　於東京上野・精養軒
第２回　1990年11月12日（月）　於東京上野・精養軒
第３回　1991年３月25日（月）　於東京上野・精養軒

協議事項（抜粋）

①マンスリーレポート複合地区送付分は廃止することに決定しているので、趣旨の徹底を再度お願いしたい。

333複合地区ガバナー協議会構成表

議　　長	菅沢　　亨(Ｂ地区)
副　議　長	長島　　彪(Ｃ地区)
幹事・会計	長谷川　恕(Ａ地区)
前　議　長	大島　宗作(Ａ地区)

地区三役県知事など表敬訪問

沼田千葉県知事と

井上千葉県警本部長と

日本赤十字千葉支社竹重事務局長と

レオ夏期研修会開く

地区レオ委員長　村　松　　卓

南房総は大房岬、山あり、海あり、緑深き広大な景勝の地に富津、君津、館山、柏グリーン、の４レオクラブメンバー４０名が集合して８月25日より少年自然の家において３日間の合宿夏期研修を行いました。キャンプファイヤー、水泳、度胸だめし等々合同訓練の成果は大きく会員の間に友情親善及び相互理解の精神を育成することを目的とする上に極めて大きな研修を行うことができました。レオの誓いの中でわたくしたちは国際人としての教養を身につけ自由と平和を愛し、限り無い情熱を持って明るい社会づくりに奉仕します、とあります様に我々ライオンはかく誓うレオ達に対しては全幅の指導をし育成に努力しなければならぬと思います。

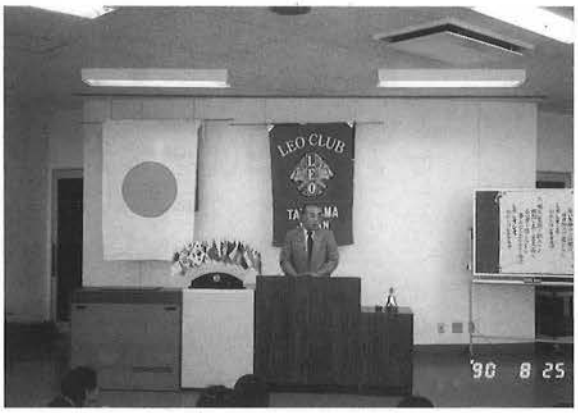
二十一世紀を担う若者達は我々ライオンズクラブのつぎの時代を継ぐ人々です。青少年の育成即ちレオクラブの育成には今こそ最大の努力を払うべき時ではないでしょうか。

▲参加者と記念撮影する長島ガバナーご夫妻

地区ＬＥＯ委員　塚田　裕也（柏グリーン）

３３３－Ｃ地区のレオクラブが、合同で８月25日から２泊３日の夏期研修会を富浦町にある県立大房岬少年自然の家で行いました。

合宿生活によって親睦を深め合いながら、レオクラブ会員としての自覚と団結心を固め、ひいては社会奉仕への意欲を、より一層、高揚させることを目的とした研修でした。



▲挨拶する長島ガバナー

開会式には、長島彪ガバナーご夫妻、平井勇元ガバナーなどキャビネット役員の方々や地元のライオンズクラブの会長の方々など多数ご出席くださり、それぞれ励ましのご挨拶をいただきました。

なかでも、村松卓地区レオ委員長が、大きな声を元気よく出し合うことの効用を説かれたことが、レオクラブ会員には印象的であったらしく、キャンプファイヤー、海水浴、きもだめしなど、３日間の行事の間、元気な声が飛びかっていました。

いつものことながら、こども達と一緒に汗を流して泊りがけでも３日間を過ごす世話係のライオンズクラブの会員の方々の労苦は、他のライオンズクラブの如何なる労力アクティビティーにも勝るとも劣らないものであろうと思います。

特に今回は、地元の館山ライオンズクラブと館山ライオネスクラブの方々には全面的なお世話になり、おかげで、大変快適な合宿生活をレオクラブ会員ができました。心から感謝をいたします。

こども達が寝静まった時間に、今後のレオクラブの在り方について、ライオンズクラブの会員が語り合えたのは、とても有意義でした。たまたま同じ２泊３日を同じ施設の中で過ごすことになったボーイスカウトの一団は、その話題の対象の一つとなりました。

帰る日に、施設の中にあるプラネタリュウムを見ました。悠久のかなたに思いをはせつつ親しくなった他クラブの会員たちと再会を約束し合って別れました。

We Serve

ＹＥサマーキャンプ報告

－７月31日㈫～８月２日㈭　佐原市与田浦荘にて－

ＹＥ委員長　Ｌ．青木　孝

ここ数年富津岬で実施していた来日ＹＥ生のサマーキャンプを、本年は地区幹事関Ｌのお薦めもあって、長島ガバナーのお膝元佐原市で開催した。利根川と水路に囲まれた孤島の与田浦は、格好の場所であった。

このキャンプの目的は、来日生のストレス解消と国際交流である。母国語も英語も十分には通じないホスト家庭で、遠慮がちな生活をしていて、ホームシックにそろそろかかっている頃、このキャンプでは同じ国から来た者にも会えるし、自由に心おきなくおしゃべりして、お遊びが一緒にできるのである。また日本から派遣したＹＥ生のＯＢを交え、国際間の友人を作り、将来の文通はもちろん、訪問を通じ交流を深められる機会でもある。佐原でのキャンプはこの２つの目的を十分達成し、来日生は再び元気潑剌としてホスト家庭の手に戻った。

さてキャンプの行事には、大崎地区総務委員長等の助言をいただき、バーベキューとキャンプファイヤー、娘(?)船頭さんの漕ぐ（スクリューでしたが）十二橋巡り、小見川の花火見物、香取神宮参拝等を組んだ。

第１日目の開会式には、長島ガバナーをはじめ地元地区役員、佐原ＬＣ会長ほか多数のご出席をいただいた。しかし定刻までに集合したＹＥ生は、11名中僅かに４名で、いかにしても開会できず、30分遅らせて２名欠のまま開会式を始めた。多忙の方々に多大なご迷惑をおかけしたこと心からお詫びしたい。聞いてみると高速から会場までの道が不明で１時間以上も右往左往していたとのこと。関地区幹事からＹＥ委員長の指導力を問われる羽目になってしまった。

夕食のバーベキューには、佐原ＬＣのメンバーが夫人同伴で奉仕していただき、材料の入手から調理、配膳までお骨折り下さった。最高級の牛肉を大量に焼き、おいしい味の焼ソバを作っていただき、ＹＥ生もＯＢ生も大喜びで、肥えることを気にしながら満腹のお腹を叩いていた。ＹＥ委員も見たまれずちょっと摘み食いする始末。

小見川の花火は、花火業者のコンクールでもあったようで、われわれでさえ初めて見るものばかりで、色といい形といい余韻といい、豪華絢爛かつ奇抜さに度肝を抜かれた。もちろんＹＥ生も感歎の声を挙げ、ナンバーワンと手を叩いて飽かず眺めていた。

香取神宮は夏の日盛りも苦にならぬほど森閑としていて、ＹＥ生は朱塗りの鳥居と山門、古びた拝殿に驚異の眼を向け、自然に敬虔な気持になっていたようだ。ガバナーから来日生に贈られたバナーは、この山門をデザインしたものであることを説明した。ガバナー御夫妻も早くから拝殿にお待ちになり、氏子総代でもあるガバナーのお取計らいで全員が昇殿し御祈禱を受けた。全員一緒に二礼二拍手一礼したが、日本古来の文化に接した彼等は強い印象を受けたものと思われる。またガバナー夫人のお心づかいで茶屋に上り、名物のおだんごを賞味したのも忘れられないであろう。

毎夜各国の学生とわがＯＢ生の交歓は朝の３時４時まで続いた。まさに無礼講の騒ぎで、これを見守るＹＥ委員はどうなるものかと「恐怖のサマーキャンプ」の実感を味わっていた。

３日間の行事を有意義に著しい効果を挙げて、本年のサマーキャンプも終了した。ガバナーをはじめ、地区役員各位、とりわけ佐原ＬＣのメンバーには格別の御支援を賜り、心から感謝申し上げる次第である。また鈴木一栄ＯＢ会長以下協力してくれたＯＢの皆さんにも、そのお骨折りに対し心からの御礼を申し上げたい。

ACT NEWS
―７月分―

2R 習志野LC

家族そろって一泊
―身体障害者とその家族、岩井海岸へ招待―
７月15日(日)

身体障害者及びその家庭を７月14日・15日、一泊で岩井海岸へ海水浴に招いた。東邦大学鎌田先生及び学生ボランティア、メンバー等総勢69名は、海岸でゲームをしたり、泳いだり、みんなで協力して作った豚汁に、子供たちは大喜びであった。

3R 八街グリーンLC

八街グリーンＬＣ結成式
７月27日(金)

3R 佐倉LC

国旗掲揚ポールの設置完成式と掲揚
―佐倉ＬＣ20周年記念ＡＣＴ― ７月１日(日)

京成白井駅前とＪＲ佐倉駅前に国旗掲揚ポールの設置を行った。ＪＲ佐倉駅前の設置は広場の整備事業の遅れから、延び延びとなっていたが、今回完了したので、市への引き渡しを兼ね、設置落成式を７月１日行った。国旗の掲揚はボーイスカウトが祝祭日に行うこととした。国旗の保管はＪＲ佐倉駅長に委託した。

4R　旭LC

日中友好 “少年の翼”へ協賛

—中学生24名中国へ派遣—
7月23日(月)～28日(土)

旭青年会議所の呼びかけに応じ、市町教育委員会及び当クラブ、飯岡ＬＣ、干潟ＬＣが協賛し、現地において青少年の交流会が実施された。

・事前に、中国語講座・交流会の検討等研修会を実施

・事後に体験記・反省会を実施

25周年記念事業の一環として金５００,０００円の金銭ＡＣＴと研修会参加の労力ＡＣＴの実施をした。

飯岡ＬＣ

少年野球・少女球技大会

少年野球大会で優勝旗を受ける子ども達

7R　白子LC

青少年サマーキャンプ大会

7月22日(日)～23日(月)

第２回サマーキャンプ大会が、日本最古の牧場の地県立清和の森において盛大に行われた。キャンプを通して家庭や学校生活では体験できない自然環境の中で、集団生活をしながら、規律・奉仕の大切さ等を学んだ。子供たち相互の人間的な触れ合いを通し、信頼感・連帯感をより深めるとともに、小学校児童の交流と融和を目的としている。白子ＬＣ会長の挨拶に続き、レクリェーション・ゲーム・キャンプファイヤー、翌日は、早朝体操・はんごう炊飯、水泳、ハイキングを実施、有意義な日を過ごした。参加者、小学生１２２名・中学１年生３０名・協力父兄２８名・ライオンズメンバー１８名、計１６９名であった。

佐原ＬＣ

香取学園「一日海の家」招待

We Serve

終戦記念日を迎えて

鴨川ネスクラブ　前幹事　木下秀子

世界平和を念願、沖縄戦を身をもって体験された、木下前幹事に一文を寄せて頂きました。紙面の都合で一部割愛させて頂きましたことお詫びします。　～鴨川ＬＳＣ会長相澤百合子～

今を遡ること45年、沖縄県慶良間諸島に米軍上陸が始まった３月からの90余日は、世界戦史にも類のない非戦闘員をも巻きこんだ悲惨な戦いが展開されました。

慶良間は離島故に情報に乏しく、前途を悲観し家族ぐるみの集団自決など、今なお生存者の中には心の傷と共に首筋などに大さな刀傷の痕が目立つ方もおられます。

１９４５年４月１日、朝餉の煙もまだ消えやらぬ午前７時頃、1,５００の飛行機と1,４００の艦船、米軍主力部隊18万人は本島中部嘉手納湾頭に上陸しました。（現在米軍基地として使用されている。）

軍民合わせ20数万人が命を失った忌わしい大戦を「思い出したくない」「語りたくない」というのが体験者の本音です。しかし、戦争の悲惨さが風化しているなか、また戦争を知らない世代が大半を占めつつあるなかで、ここで後世に戦史の事実を伝えておかねばという思いもあります。

私は当時小学校高学年で那覇市に住んでおりました。父は防衛隊員として現地採用、兄２人は学徒動員ということで、祖父母・母・嫁いだ姉母子・私で、度重なる艦砲射撃、大空襲によって跡形もない那覇を逃れ、多くの人々と共に逃避行が始まりました。私は背中に甥を背負い宝物の学用品と鰹節、黒糖、澱粉等を持ち、足を引きずりながら南下しました。母達大人は、持てるだけの食料品や着替えを持ち、老人・子供を励ましながらの逃避行でした。家は焼きつくされていただけに夜露と雨に悩まされ、岩蔭木蔭にふせ、焼きつくされた砂糖きび畑をはって南下して行きました。

畑の中に、死んだ母親の乳房を求めて這い廻る乳児、息まだ絶えぬ負傷者を首だけ出して埋めてあるもの、沢山の死傷者の傷口からわく蛆等々、全く悲惨なものでした。私もまた転がっている幾多の死体に、もしや父ではないかと思いながらもそれを口にするのが恐しく、また見届ける裕りもないまま逃げ続けました。豊見城という所で壕の入り口にいた祖父母と姉が砲弾の餌食になりました。私も破片を脇腹に受け傷つきました。何べん痛む足に「もう歩けない」と座りこんで泣いたことでしょう。幾晩も幾晩も夜道に敵弾をくぐり足を引きずり南下しました。

とうとう６月19日、現糸満市付近の三輪村で捕虜となり、怪我の治療・水・食物を与えられ本部の収容所に入れられ、苦しい逃避行が終りました。戦争に少しでも従事したＰＷと言われた人は、その後２年もハワイに送られていました。

今、沖縄には「姫百合の塔」「健児の塔」など戦没学生の慰霊塔を始め、牛島軍司令官が自決された摩文仁（マブニ）の丘には各県別の慰霊塔が林立、手向けの香華が跡を断ちません。沖縄戦では10万の日本軍と約16万の住民の生命が奪われました。

戦後45年、エメラルドの海、珊瑚礁の島沖縄は、大戦が嘘のように美しく隠やかに、沢山の観光客で賑わっています。

終戦記念日にあたり、当時を追憶しました。限られた紙面で意を尽くせなかったことが心残りです。

岩まくら　固くもあらん
　安らかに
　　眠れとぞ祈る　学びの友は
――恩師作――

門出の朝は愛らしき
　笑顔で母を振りかえり
振りしハンカチ今いずこ
　悲しく散りし姫百合の花
――木下作――

地　区　行　事　予　定　表

1990.7〜1990.12

月	日	曜	事　　項	備　　考
7	1	日	ＹＥ派遣生壮行会	千葉ペリエホール
	1	日	ＹＥホストファミリーオリエンテーション	〃
	2	月	香取神宮参拝	
			内局会議	
	6	金	ガバナー国際大会へ出発（６〜19）	
	9	月	来日生出迎え（アメリカ）	
	10	火	佐原ＬＣ国際大会へ14名出発（10〜18）	
	13	金	ＹＥ委員会	千葉ペリエホール
	14	土	長島ガバナー就任	
			来日生出迎え（カナダ）	
	15	日	派遣生見送り	
			来日生出迎え（オランダ）	
	16	月	派遣生見送り	
	17	火	複合地区ＹＥ委員会	成田セントラーザホテル
			派遣生見送り	
			来日生出迎え	
	18	水	派遣生見送り	
	21	土	来日生出迎え（フランス）	
	23	月	内局会議	
	25	水	派遣生見送り（ドイツ）	
	27	木	八街グリーンＬＣ結成会	八街商工会議所
			派遣生見送り（ベルギー）	
			相沢理事感謝の夕べ	新潟クランドホテル
	28	土	来日生出迎え（アメリカ）	
	30	月	内局会議	
			派遣生見送り	
			ＭＤ３３３管理委員会	土浦京成ホテル
	31	火	ＹＥサマーキャンプ	佐原与田浦荘
8	1	水	〃	〃
	2	木	〃	〃
	3	金	ＲＣ会議	潮来富士屋ホテル
	4	土	第１回キャビネット会議	佐原開花亭
			来日生見送り（アメリカ）	
	6	月	内局会議	
			来日生見送り（台湾）	
	12	日	複合地区ガバナー協議会	上野精養軒
	13	月	内局会議	
	17	金	来日生見送り（オランダ）	
	20	月	内局会議	
			来日生見送り（台湾、アメリカ）	
	23	木	来日生見送り（カナダ）	
	24	金	派遣生出迎え	
			来日生見送り（ドイツ、デンマーク、イギリス）	

We Serve

月	日	曜	事　　項	備　　考
8	25	土	レオ夏期研修会（25～27）	富津市
			派遣生出迎え（アメリス、オーストラリア）	
	28	火	〃　　（アメリカ）	
	29	水	〃　　（アメリカ）	
	30	木	〃　　（アメリカ、カナダ）	
9	1	土	ガバナー公式訪問	３Ｒ１Ｚ
	3	月	内局会議	
	8	土	銚子中央ＬＣチャーターナイト	銚子プラザホテル
	9	日	八街ＬＣチャーターナイト	成田ビューホテル
			ガバナー公式訪問	成田ビューホテル
	10	月	内局会議	
	15	土	ガバナー公式訪問	５Ｒ１、２Ｚ
	16	日	ガバナー公式訪問	６Ｒ、１、２Ｚ
	17	月	内局会議	
	22	土	成田ＬＣ25周年	成田ビューホテル
	23	日	ガバナー公式訪問	１Ｒ１、２Ｚ
	24	月	ガバナー公式訪問	２Ｒ、１、２Ｚ
	30	日	ガバナー公式訪問	３Ｒ２、３Ｚ
10	1	月	内局会議	
	7	日	ガバナー公式訪問	７Ｒ、１、２Ｚ
	8	月	内局会議	
	11	木	ＬＣＩセミナー	東京
	13	土	八千代東ＬＣチャーターナイト	勝田台グランドホテル
	14	日	八日市場ＬＣ25周年	
	15	月	内局会議	
	18	木	第29回東洋東南アジアフォーラム（18～21）	マニラ
	20	土	船橋東ＬＣ25周年	
	22	月	内局会議	
	28	日	神崎ＬＣ20周年	
			上総一宮ＬＣ25周年	
	29	月	内局会議	
11	1	木	地区委員長会議	
	上旬		トレナーセミナー	東京
	3	土	ガバナー公式訪問	４Ｒ、１、２Ｚ
	5	月	内局会議	
	12	月	内局会議	
	19	月	内局会議	
	23	金	鴨川ＬＣ25周年	
	26	月	内局会議	
	27	火	第１回国際副会長公式訪問	土浦
12	1	土	第２回キャビネット会議	千葉県労働者福祉センター
	3	月	内局会議	
	10	月	内局会議	
	17	月	内局会議	
	24	月	内局会議	
	31	月	内局会議	

ガバナー公式訪問日程表（予定）

月	日	曜	R	Z	クラブ数	クラブ数
9	1	土	1	3	6	柏・我孫子・柏中央・柏グリーン・印西・柏オーク
	9	日	3	1	8	成田・佐倉・四街道・酒々井・成田グリーン・成田平成・八街・八街グリーン
	15	土	5	1	4	木更津・木更津中央・袖ケ浦・木更津金鈴
				2	4	富津・上総・君津・君津中央
	16	日	6	1	5	館山・鋸南・館山中央・館山北・館山南
				2	4	鴨川・房州白浜・房州朝夷・房総勝浦
	23	日	1	1	7	市川・市川東・下総中山・浦安・行徳・市川北・浦安シーサイド
				2	7	松戸・流山・松戸中央・松戸東・野田・松戸ユーカリ・関宿
	24	月	2	1	5	船橋・船橋中央・鎌ケ谷・沼南・船橋ポート
				2	7	習志野・八千代・船橋東・船橋京葉・船橋北・習志野中央・八千代東
	30	日	3	2	4	千葉・千葉中央・千葉若潮・千葉ポート
				3	4	市原・千葉エコー・市原南・千葉京葉
10	7	日	7	1	6	茂原・上総一宮・茂原長生・白子・長南・長柄
				2	4	東金・大網白里・九十九里・成東
11	3	土	4	2	8	八日市場・旭・総武中央・飯岡・多古・干潟・山田町・光
				1	7	銚子・佐原・東庄・神崎・大栄・栗源・銚子中央

ＰＲ情報委員

皆様の投稿をお待ちしております。ＰＲ情報委員、地区ニュース、編集委員までご連絡下さい。

1Ｒ 山本克己（松戸中央）
☎ 0473—62—3096

2Ｒ 富士原勇（船橋ポート）
☎ 0474—32—8237

3Ｒ 酒井充雄（成田）
☎ 0476—26—2567

4Ｒ 斎藤幸男（東庄）
☎ 0478—87—0103

5Ｒ 安田正吾（袖ケ浦）
☎ 0438—62—0088

6Ｒ 大和田新太郎（房州白浜）
☎ 0470—38—5052

7Ｒ 菅原　明（茂原長生）
☎ 0475—24—1377

副委員長 椎名英夫（光）
☎ 0479—84—1018

地区ニュース編集委員

木内忠彦（佐原）
☎ 0478—52—3455

椎名茂樹（佐原）
☎ 0478—52—4820

人見三郎（佐原）
☎ 0478—54—0374

高橋惣司（東庄）
☎ 0478—87—0576

編集後記

７月より数回の編集委員会を開催、地区ニュース第１号の発刊にこぎつけました。１号の掲載には、国際会長、略歴、就任演説、国際プログラム、尚、長島ガバナーの方針を始め、キャビネット構成委員、地区委員、クラブ会長等の抱負と方針の原稿の協力をいただき、全ページ満杯の第１号となりました。又、次号よりは、長島ガバナーの御指導にもとづき、読みやすい地区ニュースを心がけております。次号よりは原稿不足の傾向があります。是非とも皆様方の情報及び、原稿をお寄せ下さいます様お願い申し上げます。

尚、編集校正には十二分に気を配ったつもりですが、万一誤字脱字等の校正ミスがありましたら、ご容赦下さいます様お願い申し上げます。

地区ＰＲ・情報委員長　鈴木三郎
（佐原）☎ 0478-54-4192　ＦＡＸ 0478-54-3320

《ちば興銀》個人ローンのご案内

マイプランローン

■ご融資額　最高3億円
■ご融資利率
変動金利型　年7.50%
■ご融資期間　30年以内
■保証人　不要
■担保　不動産

●担保提供者が借主と異なる場合は連帯保証人となります。
●担保は不動産とし、保証会社が根抵当権を設定いたします。

アパートローン

■ご融資額　最高5億円
■ご融資利率
変動金利型　年7.50%
固定金利型　年7.56%
■ご融資期間　30年以内
■保証人・担保　必要

●保証人は賃貸住宅経営継承予定の法定相続人1名。
●担保は融対物件に保証会社が原則として抵当権を設定いたします。

パートナーローン

■ご融資額　最高500万円
■ご融資利率
年11.4%～年12.4%
■ご融資期間　7年以内
(200万円以下は5年以内)
■保証人・担保　不要

●お使いみちは自由です。
(事業資金は除きます)
●お取引内容により金利優遇いたします。
●ご返済方法　元利均等定額返済

カードローン

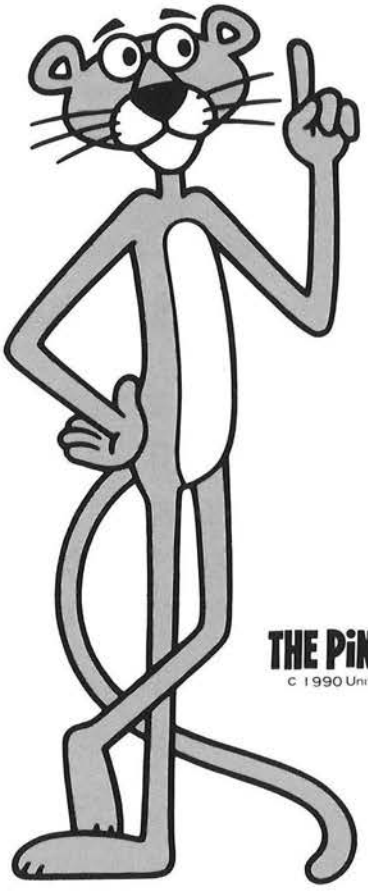
■ご融資額／ご融資利率
4コース　30万円→年12.1%
50万円→年12.1%
100万円→年10.8%
200万円→年10.0%
■ご融資期間
1年間(自動更新)
■保証人・担保　不要

●次のとおり約定返済となります。
30万円……毎月1万円
50万円……毎月2万円
100万円……毎月2万円
200万円……毎月3万円
●お取引内容により金利優遇いたします

大型フリーローン

■ご融資額　最高1億円
■ご融資利率
長期プライムレート連動の変動金利型
■ご融資期間
2年間(自動更新)
■保証人　不要
■担保　不動産、有価証券

●担保提供者が借主と異なる場合は連帯保証人となります。
●不動産担保の場合、保証会社が根抵当権を設定いたします。



THE PINK PANTHER
© 1990 United Artists Pictures, Inc

注) 1．お借入時の年令が満20才以上の方が対象となります。
2．上記内容のほか、当行所定の条件がございますので、詳しくは《ちば興銀》の窓口へ、お気軽におたずねください。

(平成2年8月1日現在)

あなたの街のパートナー
ちば興銀

伝統の酒「東薫・二人静」

時は文政8年（1825）
江戸文化が開花する頃、
東薫酒造は、下総佐原の地に
創業しました。
鶴屋南北が「東海道四谷怪談」
を著し、東洲斎写楽が浮世絵
を描き、能や歌舞伎が庶民の間
に人気を集めていた時代から、
そして今、時を超えて
酒を知り、酒を愛する人々に
飲みつがれています。
佐原に、東薫・二人静という
名酒あり―。

本醸造　二人静

吟醸酒の美点を取り入れ、じっくりと仕込み、果実の芳香に似た吟醸香ただよう喉ごしのなめらかな清酒。ヒヤ又は、ロックで最高。

東薫酒造株式会社

千葉県佐原市佐原イ627
TEL　0478（55）1122

NISSEKI
DASHRACER100

日本石油株式会社特約店

長島石油株式会社

〒287　本社　千葉県佐原市佐原ロ2028の11
TEL　佐原(0478)(55)1234㈹

佐原給油所	佐原市北3丁目8-12	☎(0478)52-3031
佐原国道給油所	佐原市山之辺1464-4	☎(0478)54-2964
小見川給油所	香取郡小見川町野田572-1	☎(0478)83-0123
小見川大橋給油所	香取郡小見川町八日市場904	☎(0478)83-0700
東金給油所	東金市台方町50	☎(04755)4-1807
サンライズしすい給油所	印旛郡酒々井町酒々井825-8	☎(0434)96-3333
サンライズ成田給油所	成田市並木町18-41	☎(0476)24-3133
潮来日の出給油所	茨城県潮来町日の出7-19-1	☎(0299)66-3695
潮来国道給油所	茨城県潮来町延方2780-1	☎(0299)66-3515
北浦給油所	茨城県北浦村山田997	☎(02915)-2514
佐原油槽所	佐原市粉名口ロ2122	☎(0478)52-4105

KIRIN

うまいことは、わかっていた。

ビールは搾(しぼ)ってつくります。
その最初に搾った
麦汁のことを"一番搾り"といいます。
それが、ビールになりました。
メーカーとしては、もったいない話。
飲む人にとってはいやはや贅沢なビール。
あしうれしい。ということになります。

キリン一番搾(しぼ)り〈生〉ビール。

新発売です。
くわしくは、お飲みいただいてから、また。
……仕事じゃビールはつくれない……

価格は普通のビールと同じです。／未成年者の飲酒は法律で禁じられています。

キリンビール株式会社